

6. 災害対策について

問30 災害への備え

問30 あなたは現在、水や食料を買い置きしておく等、災害に対して何らかの備えを行っていますか？

1. はい

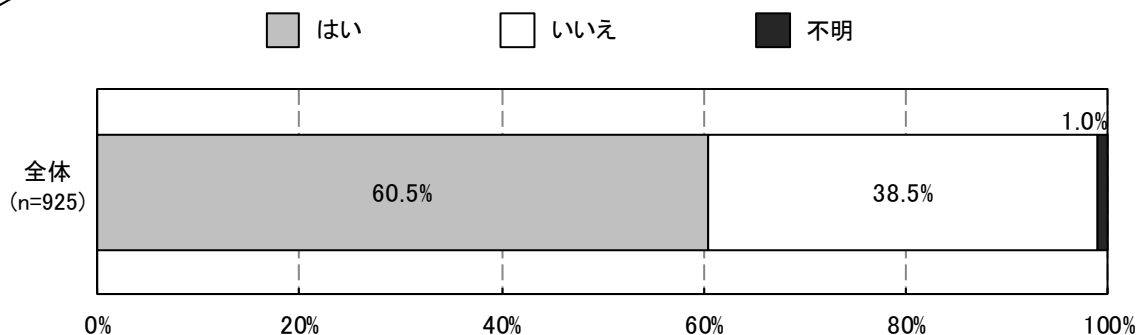
2. いいえ

災害への備えを行っているかについて、「はい」と回答された方の割合は60.5%となり半数以上の方が災害に対して何らかの備えを行っている。

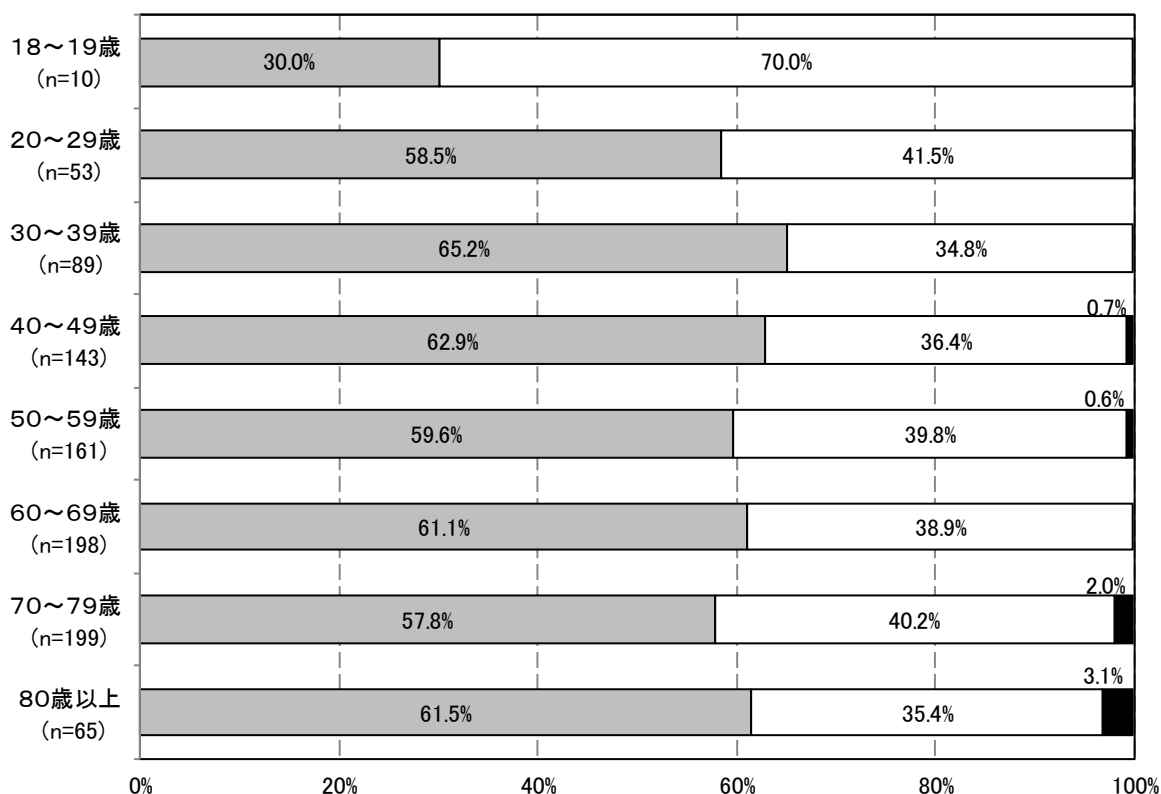
年代別で見ると、「はい」と回答された方の割合が最も高かった年代は「30～39歳」（65.2%）であった。次いで、「40～49歳」（62.9%）、「80歳以上」（61.5%）と続いた。

地域別では、「はい」と回答された方の割合は「河西部」で53.9%となったが、他の地域では60%を超える結果となった。

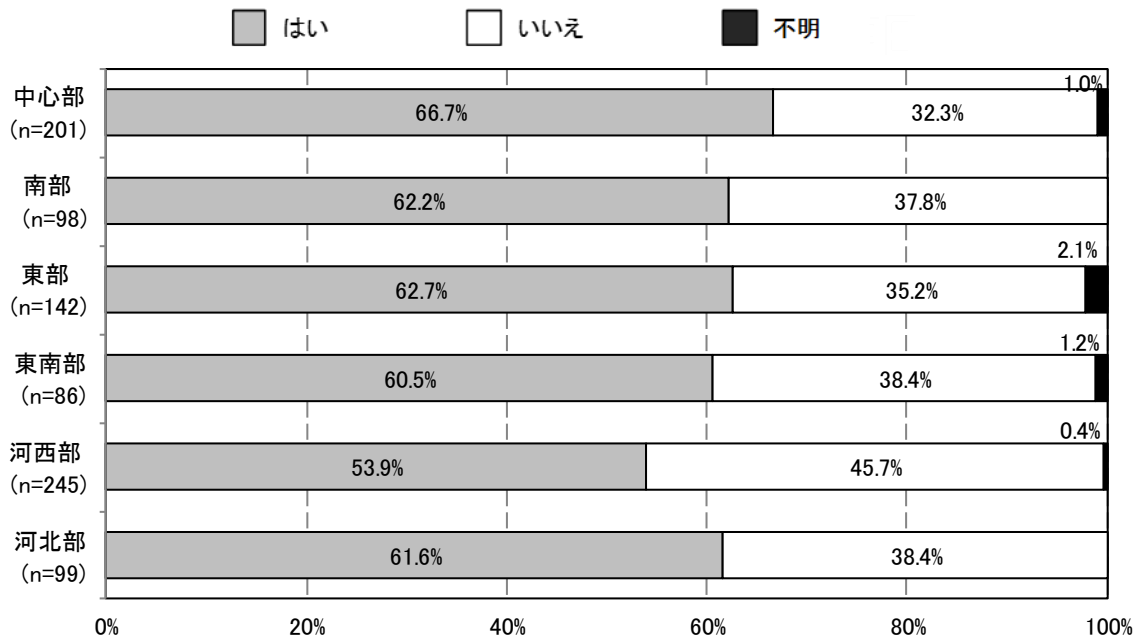
<全体>



<年代別>



<地域別>



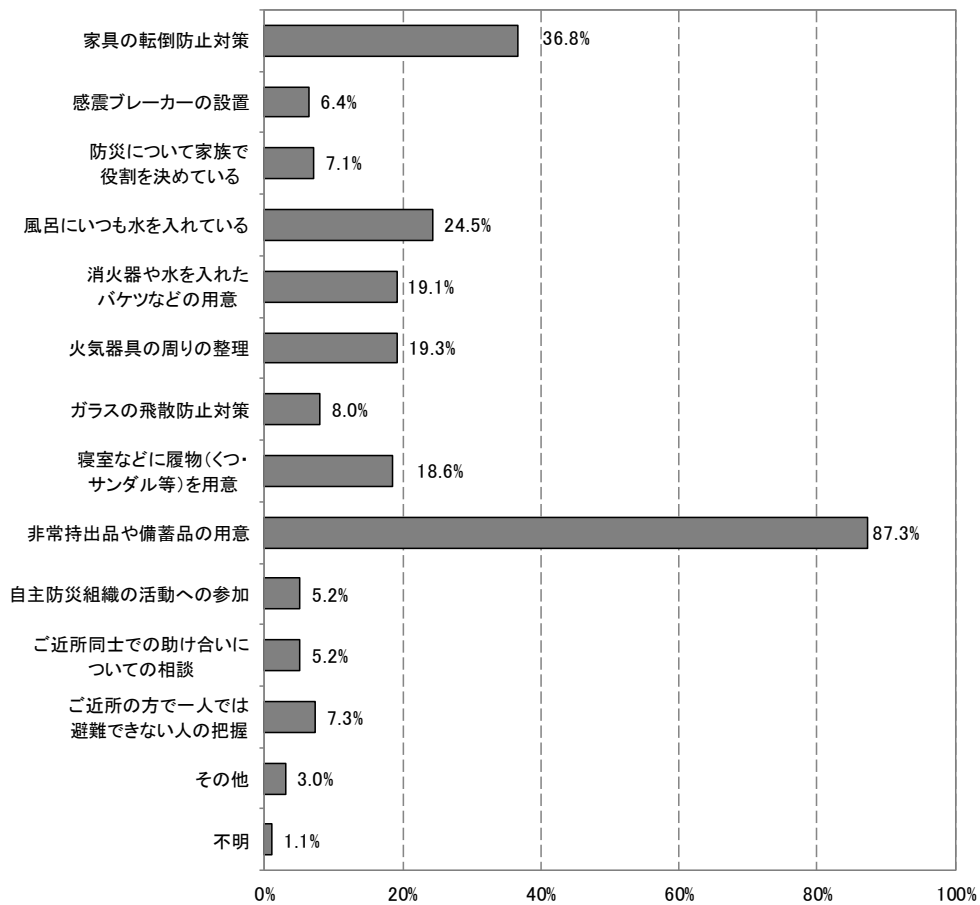
問30-1 災害に備えていること

問30-1 問30で「1. はい」と回答された方のみお答えください。災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 家具の転倒防止対策
2. 感震ブレーカーの設置
3. 防災について家族で役割を決めている
4. 風呂にいつも水を入れている
5. 消火器や水を入れたバケツなどの用意
6. 火気器具の周りの整理
7. ガラスの飛散防止対策
8. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）を用意
9. 非常持出品や備蓄品の用意
10. 自主防災組織の活動への参加
11. ご近所同士での助け合いについての相談
12. ご近所の方で一人では避難できない人の把握
13. その他

災害に備えていることで最も多かった回答は「非常持出品や備蓄品の用意」(87.3%)となった。次いで、「家具の転倒防止対策」(36.8%)、「風呂にいつも水を入れている」(24.5%)と続いた。

n=560



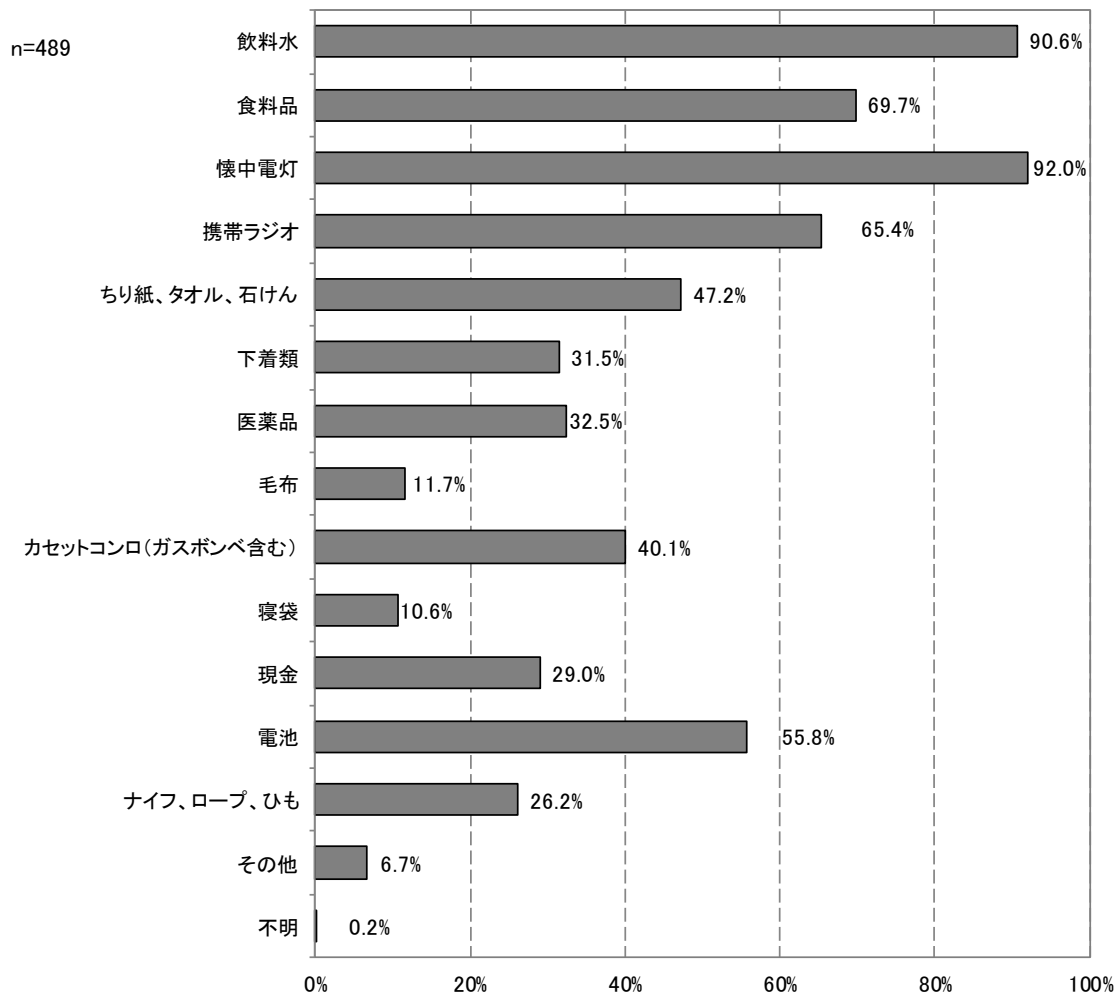
その他：「家族で避難場所を決める」、「飲料水の確保」など

問30-2 災害に備えているもの

問30-2 問30-1で「9. 非常持出品や備蓄品の用意」と回答された方のみお答えください。
 非常持出品や備蓄品としてどのようなものを用意していますか？あてはまるものを全
 てお選びください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 飲料水 | 8. 毛布 |
| 2. 食料品 | 9. カセットコンロ（ガスボンベ含む） |
| 3. 懐中電灯 | 10. 寝袋 |
| 4. 携帯ラジオ | 11. 現金 |
| 5. ちり紙、タオル、石けん | 12. 電池 |
| 6. 下着類 | 13. ナイフ、ロープ、ひも |
| 7. 医薬品 | 14. その他 |

災害に備えているものとして、最も多かった回答は「懐中電灯」（92.0%）となった。次いで、「飲料水」（90.6%）、「食料品」（69.7%）と続いた。



その他：「トイレ」、「ラップ」、「手袋」など

問3 1 家具等の固定状況

問3 1 あなたは、家具等の固定をしていますか？

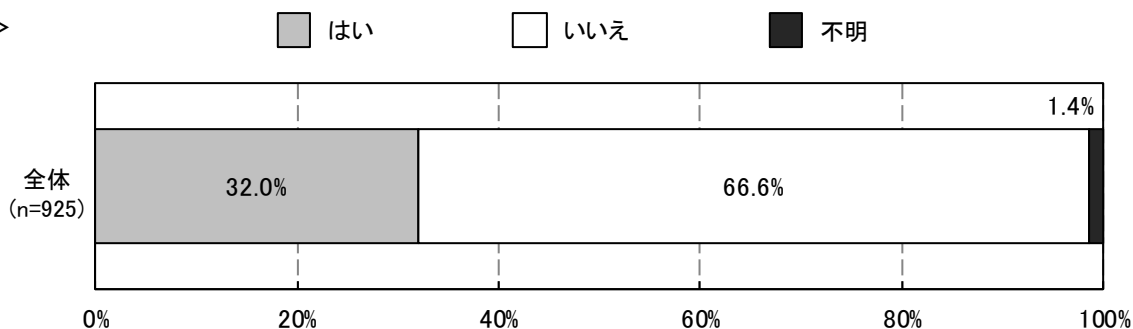
1. はい

2. いいえ

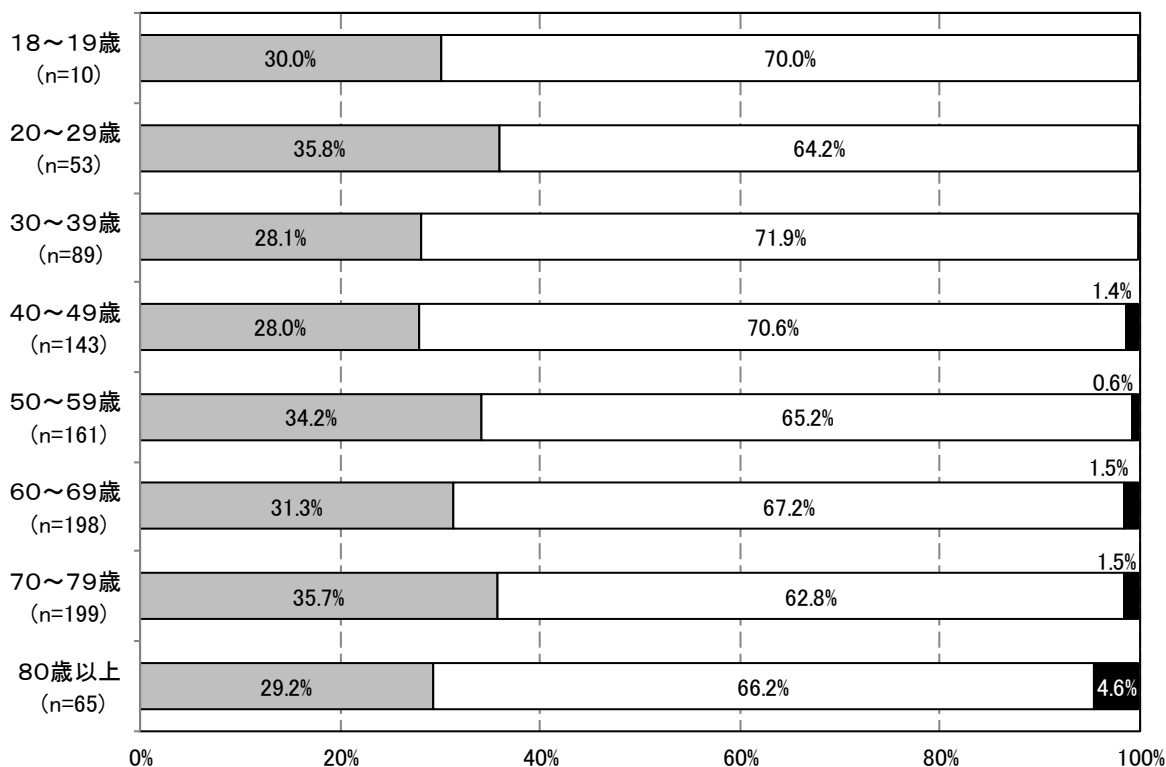
家具等を固定しているかについて、「はい」と回答された方の割合は32.0%、「いいえ」が66.6%となった。

年代別では、「はい」と回答された方の割合が最も高かった年代は「20～29歳」（35.8%）となった。次いで、「70～79歳」（35.7%）、「50～59歳」（34.2%）となった。

<全体>



<年代別>



問31-1 家具等を固定していない理由

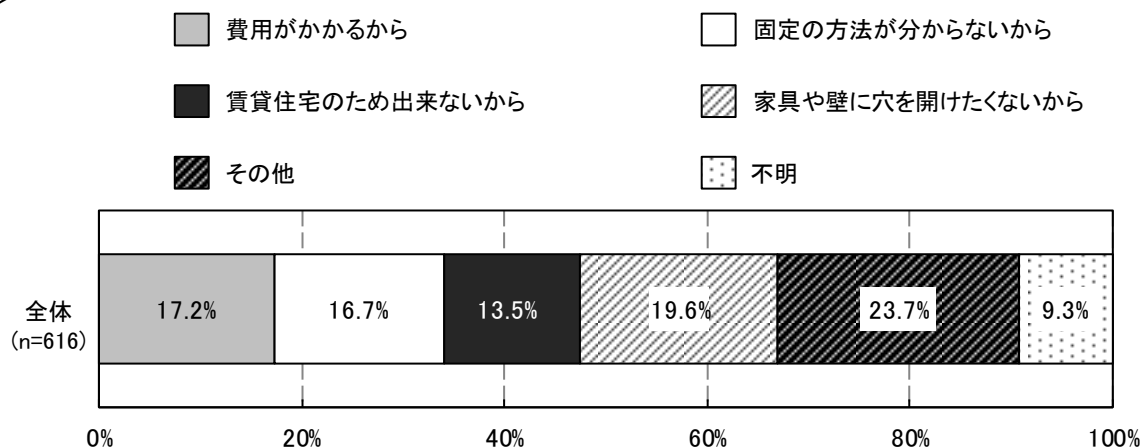
問31-1 問31で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。家具等の固定をしていない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 費用がかかるから
2. 固定の方法が分からないから
3. 賃貸住宅のため出来ないから
4. 家具や壁に穴を開けたくないから
5. その他

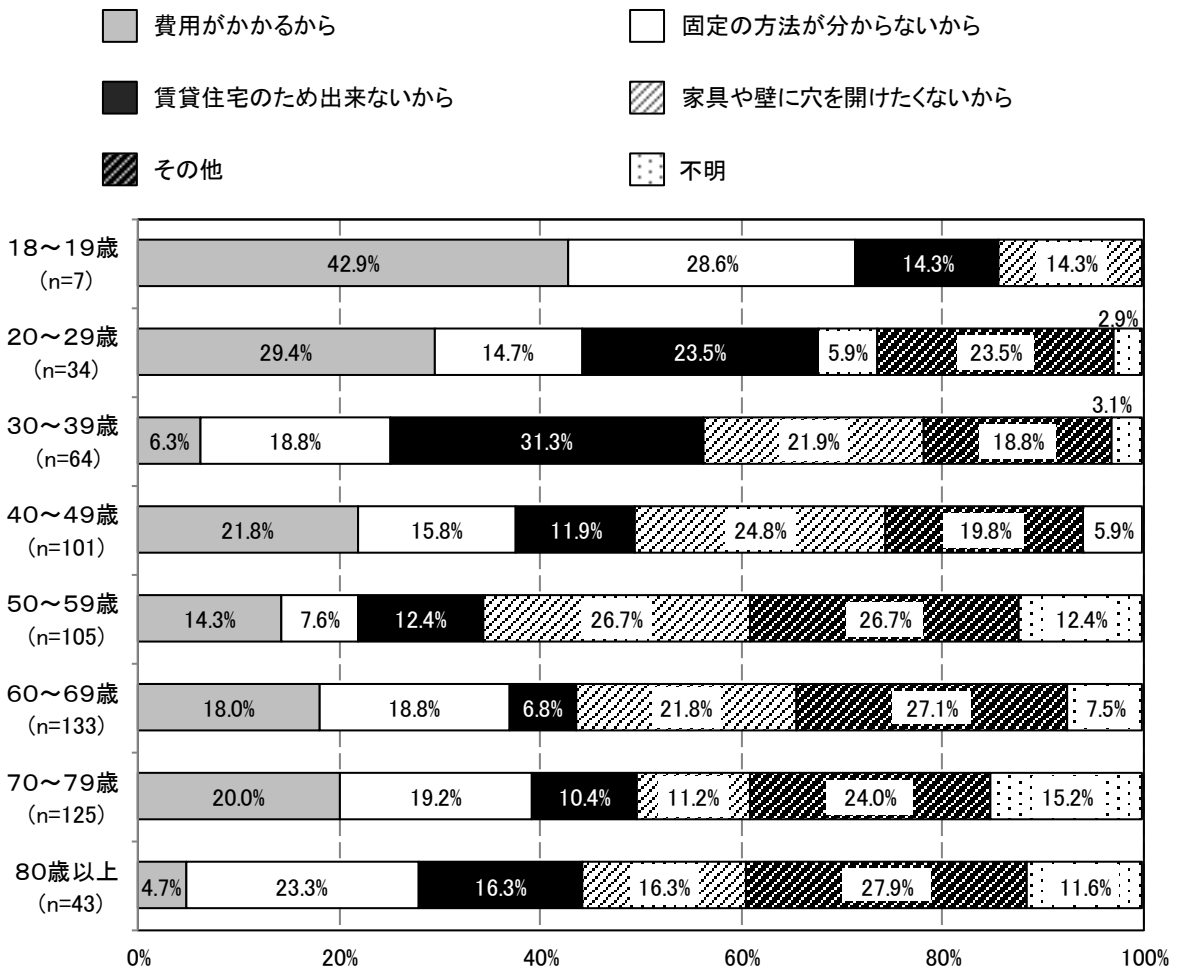
家具等を固定していない理由で最も多かった回答は「家具や壁に穴を開けたくないから」(19.6%)となった。次いで、「費用がかかるから」(17.2%)、「固定の方法が分からないから」(16.7%)と続いた。

年代別では、「家具や壁に穴を開けたくないから」を回答された方の割合が最も高かった年代は「50～59歳」(26.7%)となった。また、「費用がかかるから」を回答された方の割合が最も高かった年代は「18～19歳」(42.9%)となった。

<全体>



<年代別>



その他：「固定の必要な家具がない」、「意識ややる気の問題」、「必要性を感じない」など

問3 2 家具の転倒防止用固定金具取付事業の認知状況

問3 2 あなたは、和歌山市が65歳以上の方だけの世帯やいくつかの条件にあてはまる方を対象に家具の転倒防止用固定金具取付事業を行っていることを知っていますか？

1. はい

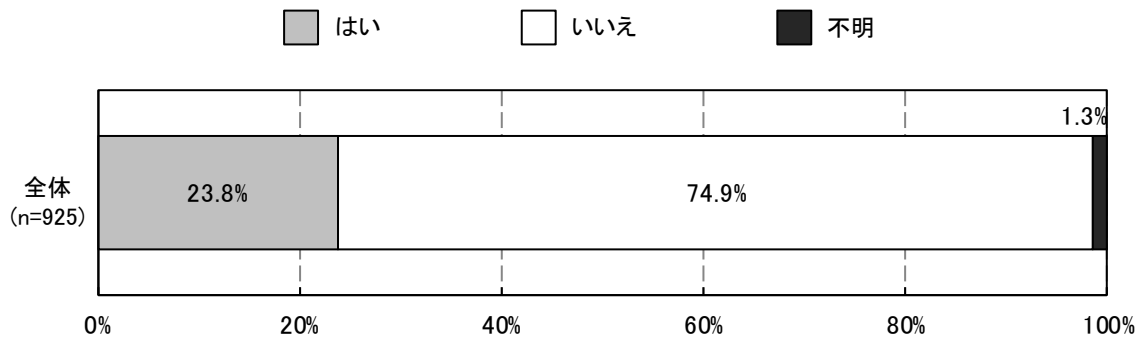
2. いいえ

家具の転倒防止用固定金具取付事業の認知状況について、「はい」と回答された方の割合は23.8%、「いいえ」は74.9%となった。

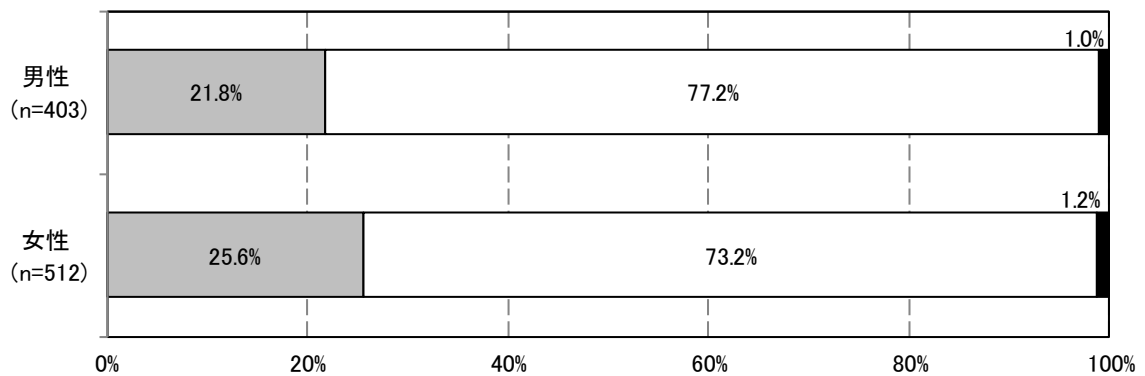
男女別では、男性で「はい」と回答された方の割合は21.8%、女性は25.6%となり、女性のほうが認知されている傾向が見られた。

年代別では、「はい」と回答された方の割合が高かった年代は「70～79歳」(39.2%)、「80歳以上」(36.9%)となったが、他の年代では低い傾向が見られた。

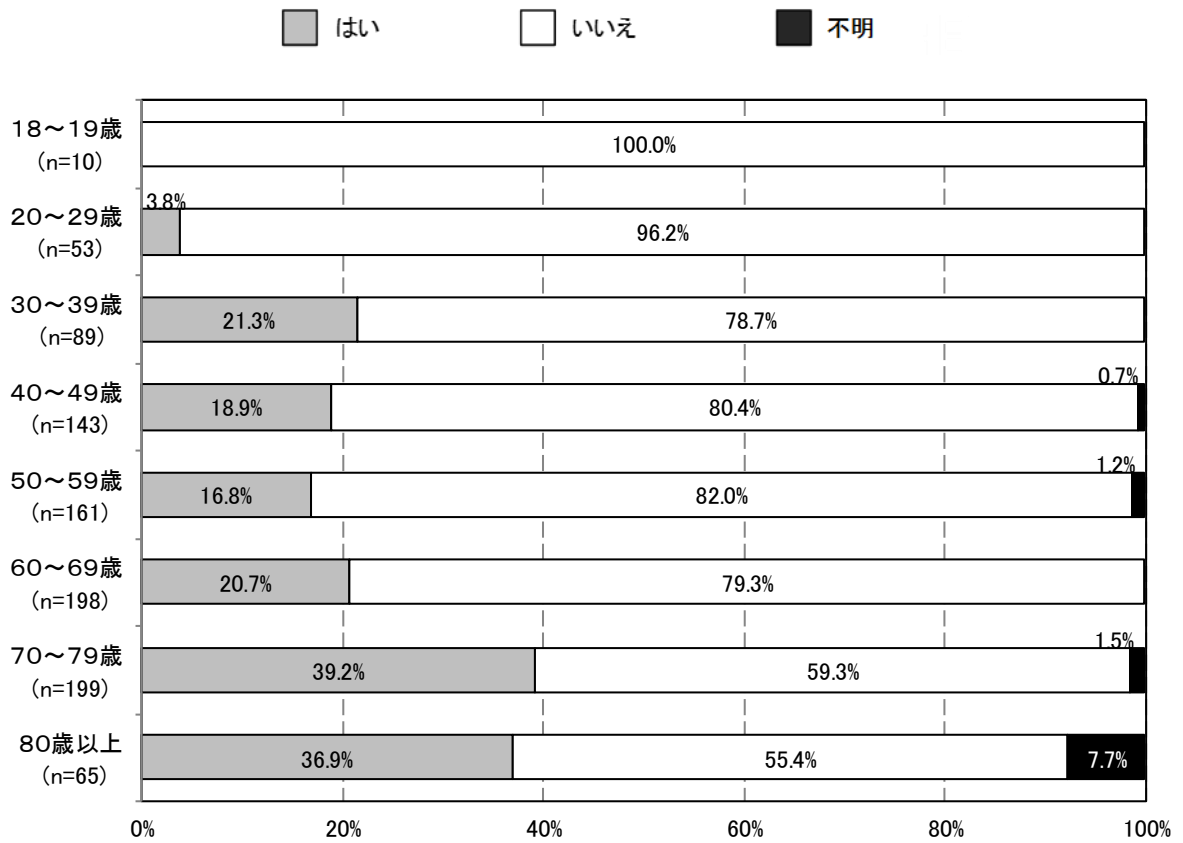
<全体>



<年代別>



<年代別>



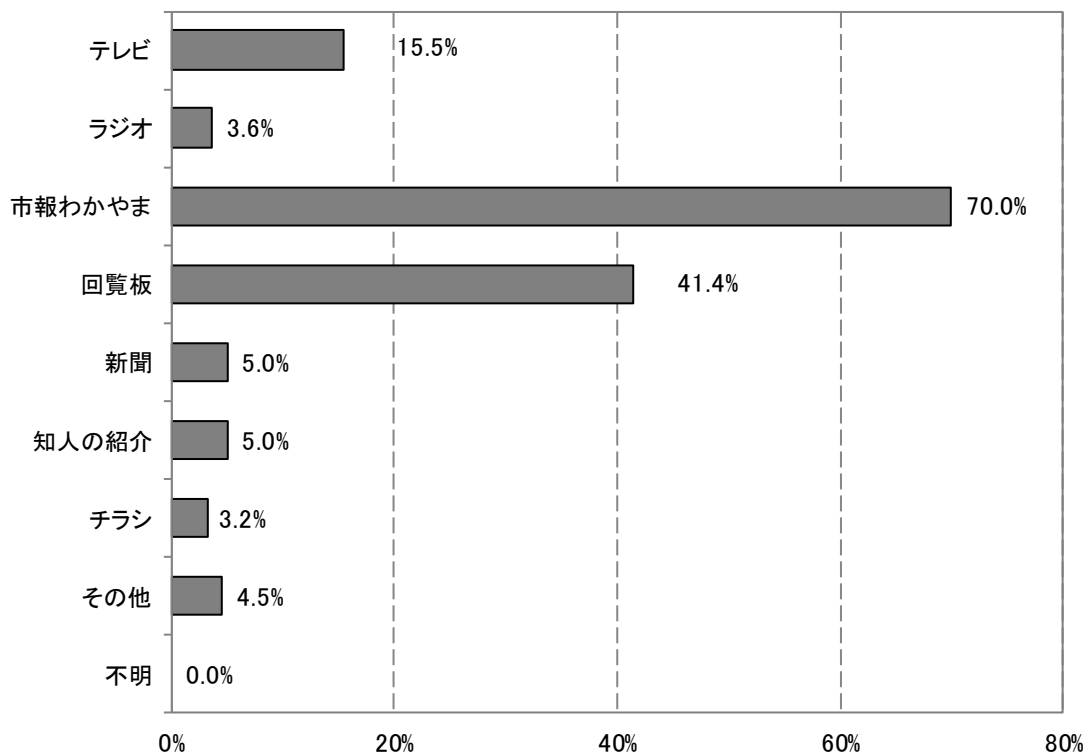
問32-1 家具の転倒防止対策を知った方法

問32-1 問32で「1. はい」と回答された方のみお答えください。家具の転倒防止対策を何で知りましたか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. テレビ | 5. 新聞 |
| 2. ラジオ | 6. 知人の紹介 |
| 3. 市報わかやま | 7. チラシ |
| 4. 回覧板 | 8. その他 |

家具の転倒防止対策を知った方法として、最も多い回答が「市報わかやま」で割合は70.0%となった。次いで、「回覧板」(41.4%)と続いた。

n=220



その他：「職場」、「ホームページ」など

問3 2-2 家具の転倒防止用固定金具取付事業の利用について

問3 2-2 あなたは、問3 2の事業の対象であれば、利用したいと思いますか？

1. 思う

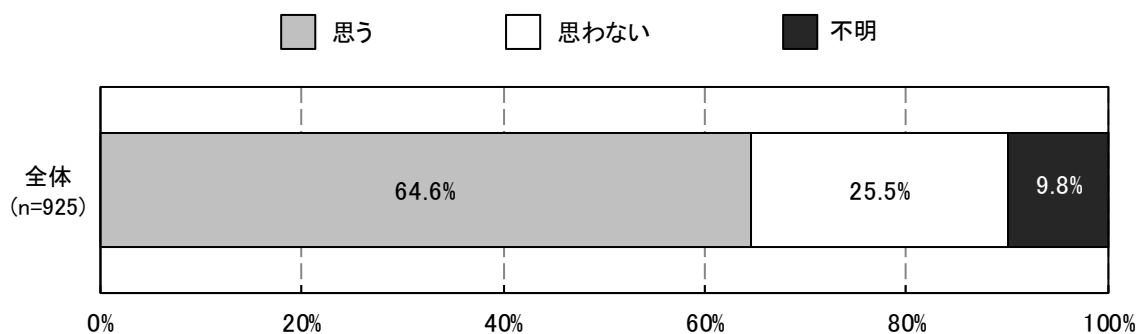
2. 思わない

家具の転倒防止用固定金具取付事業の利用について、利用したいと「思う」と回答された方の割合は64.6%となった。

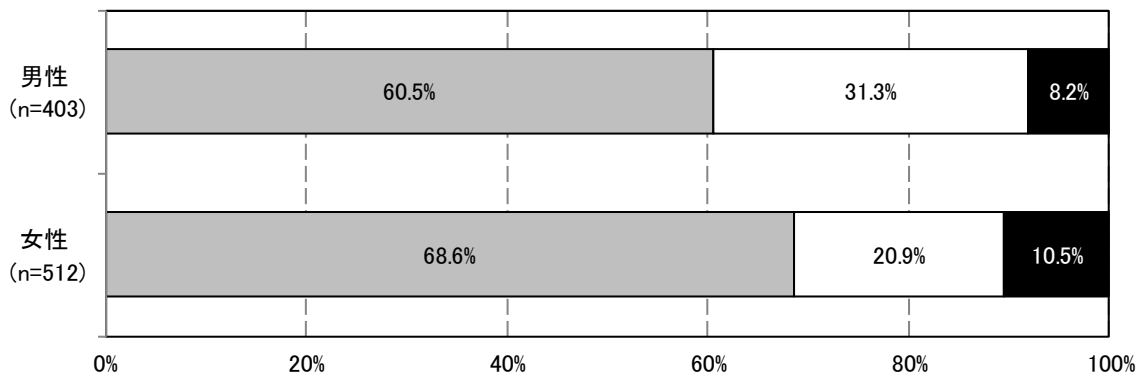
男女別では、男性で「思う」と回答された方の割合は60.5%、女性で68.6%となり、女性のほうが利用したいと考える傾向が見られた。

年代別では、「思う」と回答された方の割合が最も高かった年代は「18~19歳」(80.0%)であったが、60歳代以上の年代で、低い傾向となった。

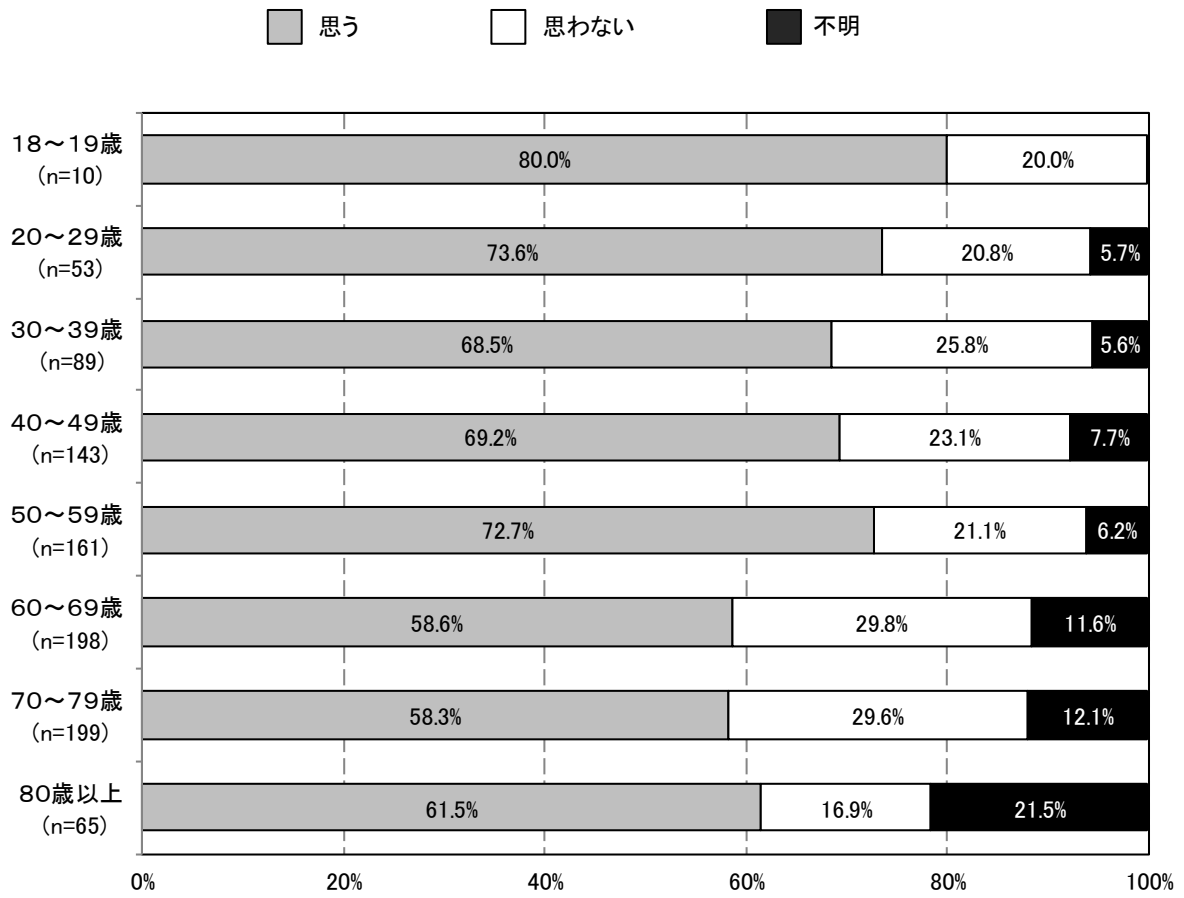
<全体>



<男女別>



<年代別>



問33 感震ブレーカーの認知状況

問33 あなたは、地震が発生し揺れを感知した際に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動で止める「感震ブレーカー」を知っていますか？

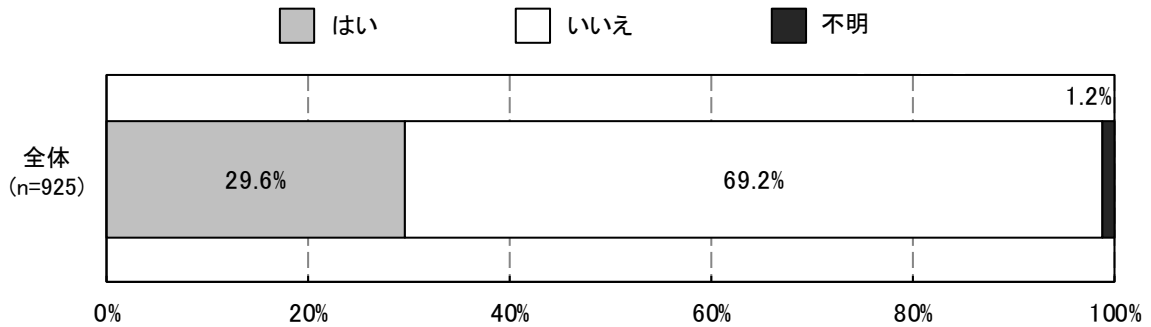
1. はい

2. いいえ

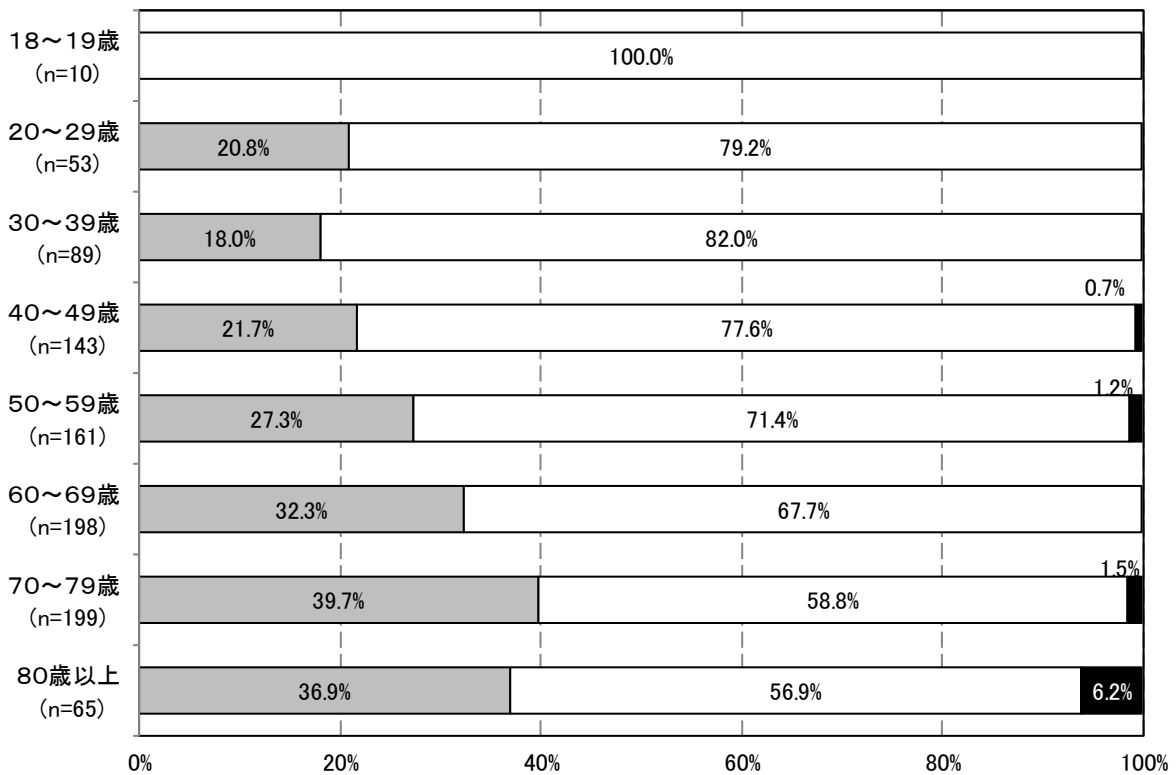
感震ブレーカーの認知状況について、「はい」と回答された方の割合は29.6%、「いいえ」は69.2%となった。

年代別では、「はい」と回答された方の割合は、60歳代以上の年代で30%を超える結果となった。

<全体>



<年代別>



問33-1 感震ブレーカーの設置状況

問33-1 問33で「1. はい」と回答された方のみお答えください。感震ブレーカーを設置していますか？

1. 設置している

2. 設置していない

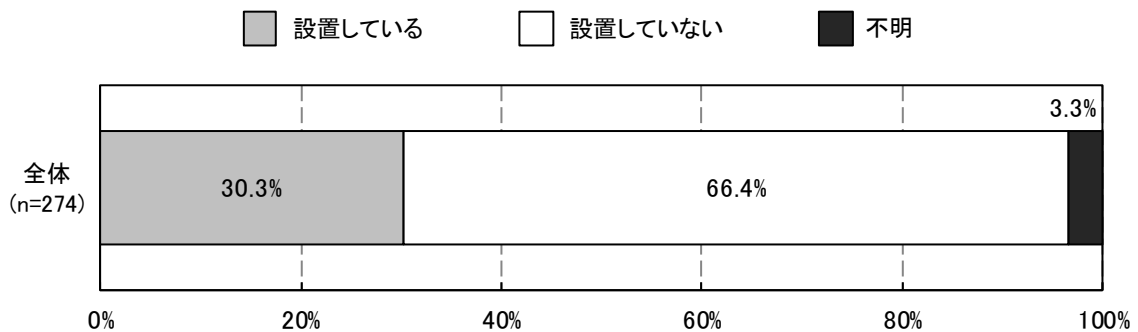
感震ブレーカーの設置状況について、「設置している」と回答された方の割合は30.3%、「設置していない」は66.4%となった。

年代別では、「設置している」と回答された割合が最も高かった年代は「70～79歳」（40.5%）となった。次いで「80歳以上」（37.5%）となり、70歳代以上の年代において、より設置している傾向が見られた。

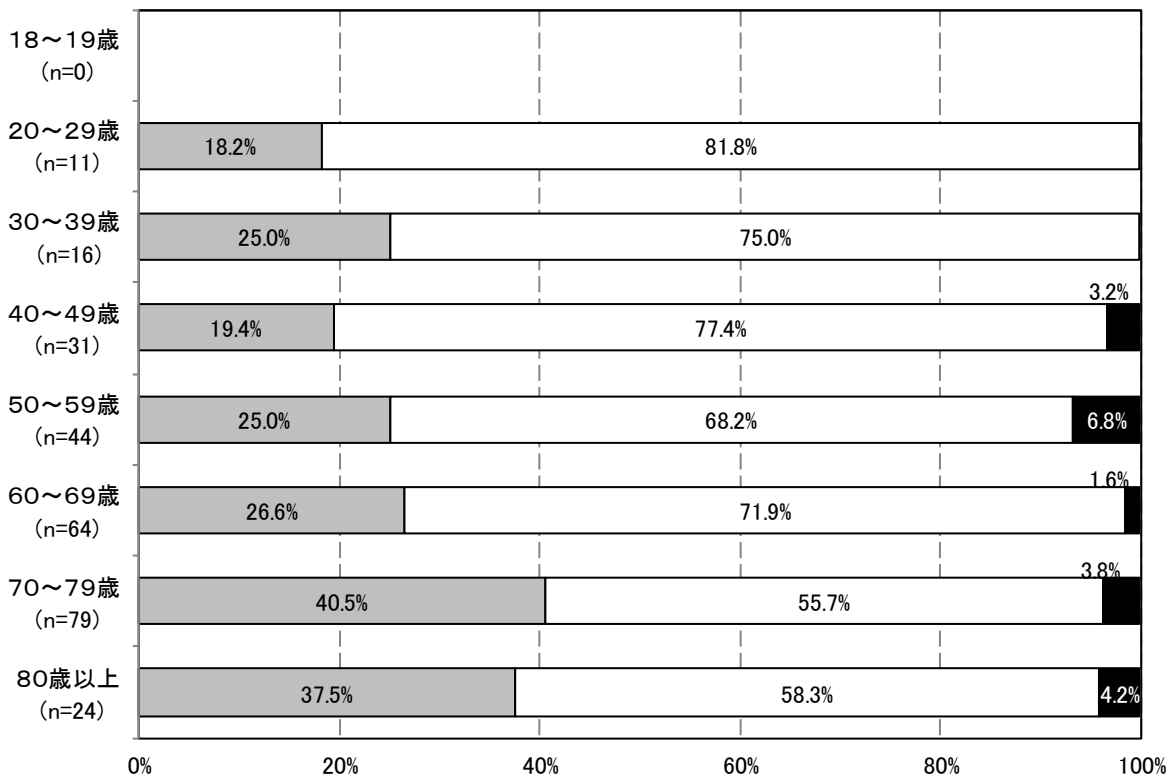
地域別では、「設置している」と回答された割合が最も高かった地域は「河西部」（36.4%）となった。

次いで、「東部」（28.6%）、「中心部」（27.6%）と続いた。

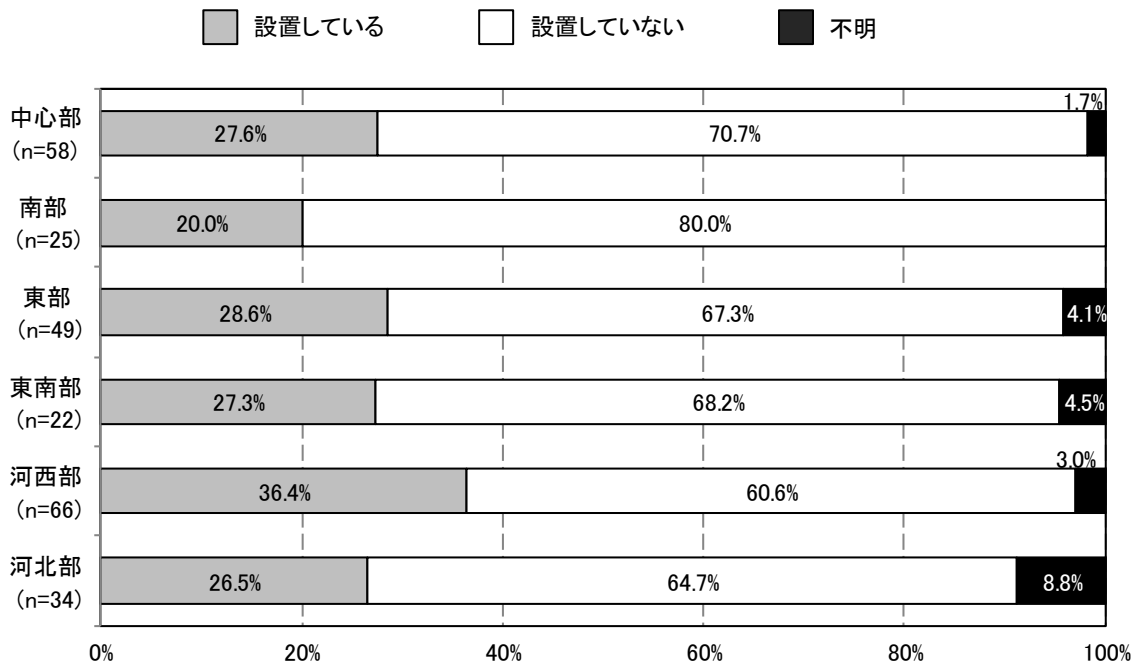
<全体>



<年代別>



<地域別>



問33-2 感震ブレイカー設置の希望状況

問33-2 問33で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。感震ブレイカーを設置してみたいと思いますか？

1. 設置したい

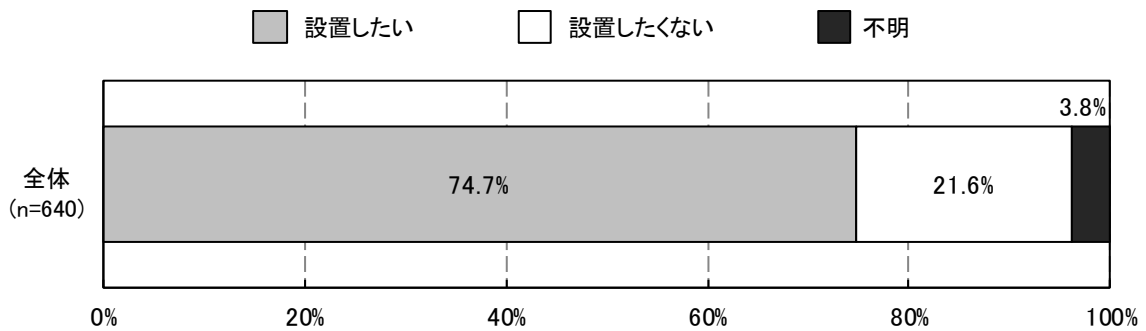
2. 設置したくない

感震ブレイカー設置の希望状況について、「設置したい」と回答された方の割合は74.7%、「設置したくない」は21.6%となった。

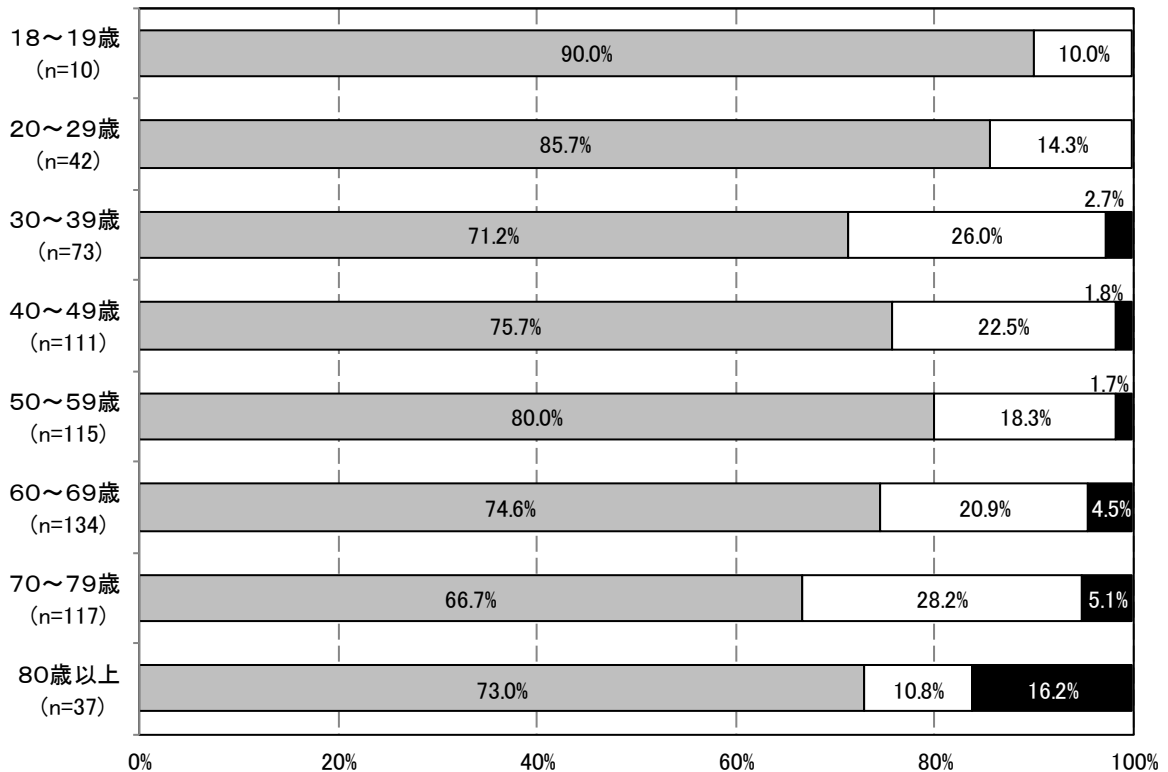
年代別では、「設置したい」と回答された方が最も高かった年代は「18～19歳」（90.0%）で、次いで「20～29歳」（85.7%）、「50～59歳」（80.0%）と続いた。

地域別では、「設置したい」と回答された方が最も高かった地域は「南部」（79.5%）で、次いで「東部」（78.9%）、「河北部」（75.0%）と続いた。

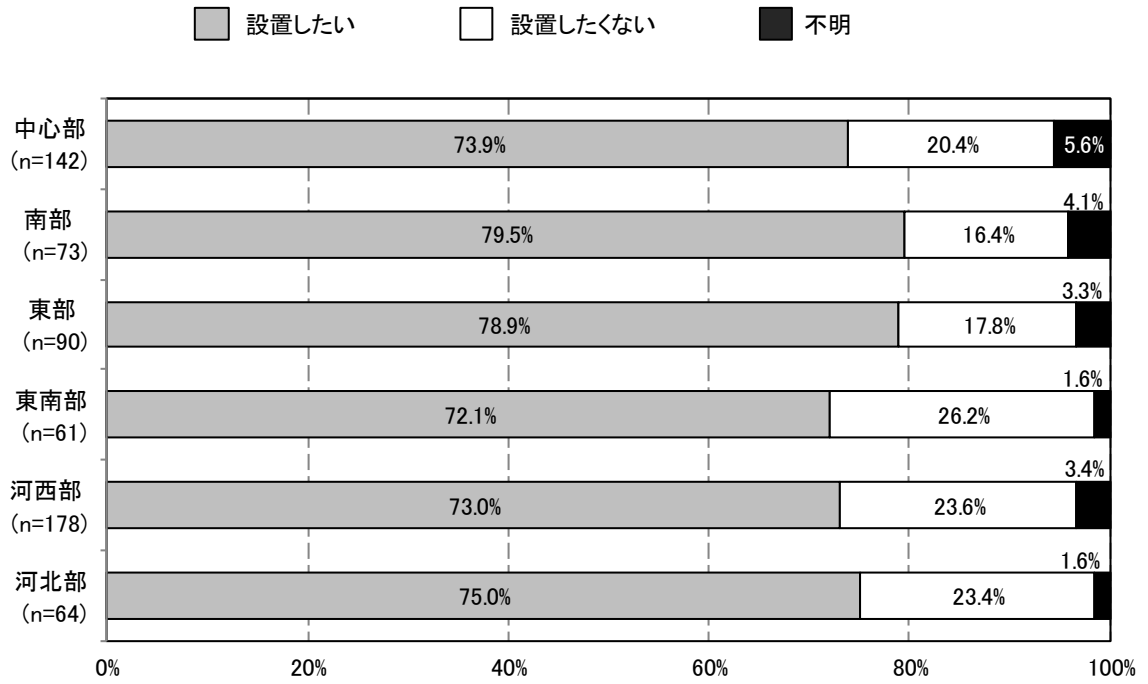
<全体>



<年代別>



<地域別>



問33-3 感震ブレイカー未設置または設置したくない理由

問33-3 問33-1で「2. 設置していない」または、問33-2で「2. 設置したくない」と回答された方のみお答えください。感震ブレイカーを設置していない又は設置したくない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

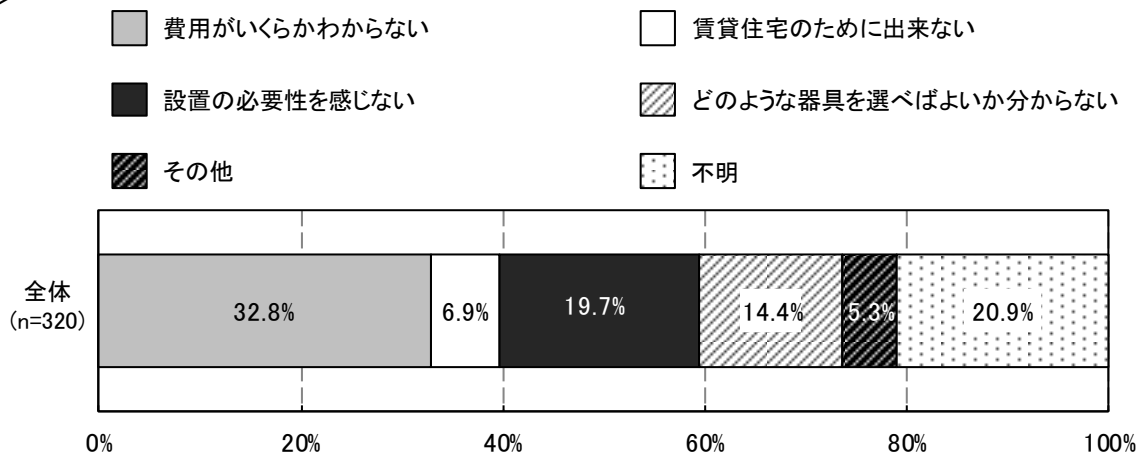
1. 費用がいくらかわからない
2. 賃貸住宅のために出来ない
3. 設置の必要性を感じない
4. どのような器具を選べばよいか分からない
5. その他

感震ブレイカー未設置または設置したくない理由として、最も多かった回答は「費用がいくらかわからない」(32.8%)となった。次いで、「設置の必要性を感じない」(19.7%)、「どのような器具を選べばよいか分からない」(14.4%)と続いた。

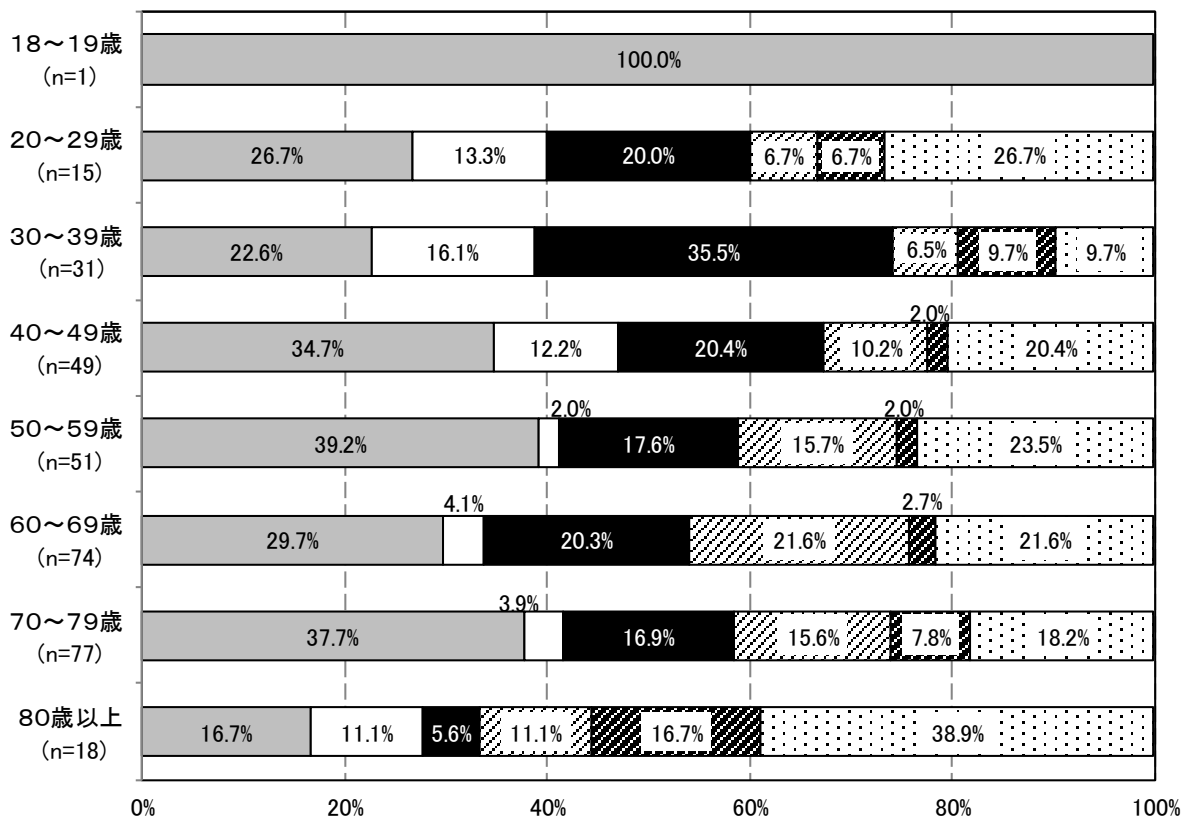
年代別では、「設置の必要性を感じない」を回答された方の割合が最も高かった年代は「30～39歳」(35.5%)となった。次いで、「40～49歳」(20.4%)、「60～69歳」(20.3%)と続いた。

地域別では、「費用がいくらかわからない」を回答された方の割合が最も高かった地域は「河北部」(40.5%)であった。また、「設置の必要性を感じない」を回答された方の割合は「南部」で6.3%と低かったが、他の地域では高い割合を示した。

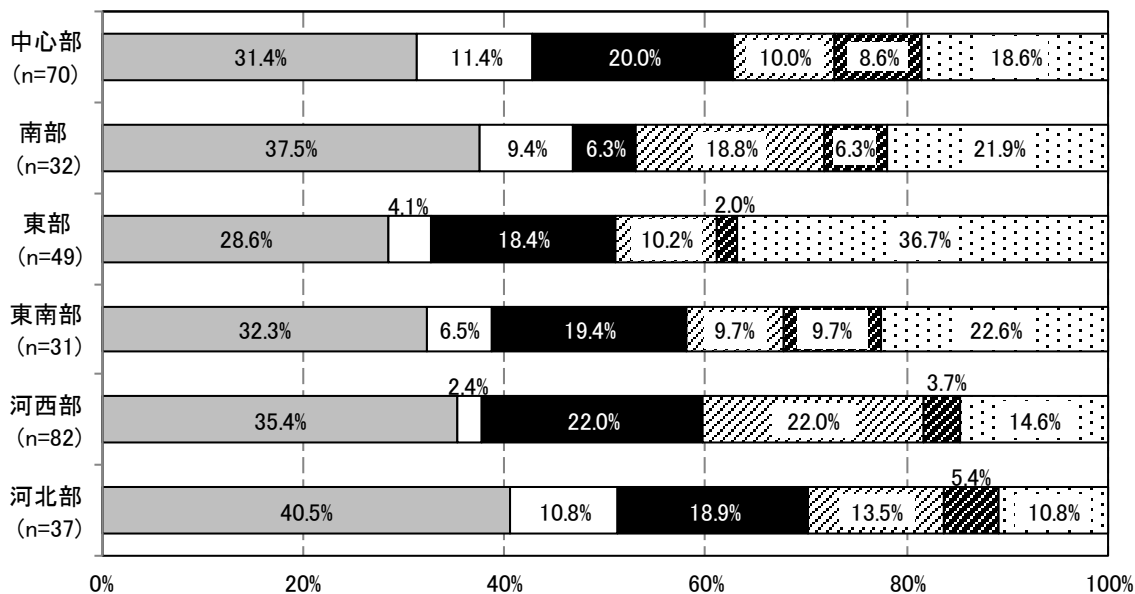
<全体>



<年代別>



<地域別>



その他：「使い方が困難」、「申請方法がわからない」、「誤作動すると面倒」など

問3 4 防災訓練の参加経験

問3 4 あなたは、市や地域が実施する防災訓練に参加したことがありますか？

1. はい

2. いいえ

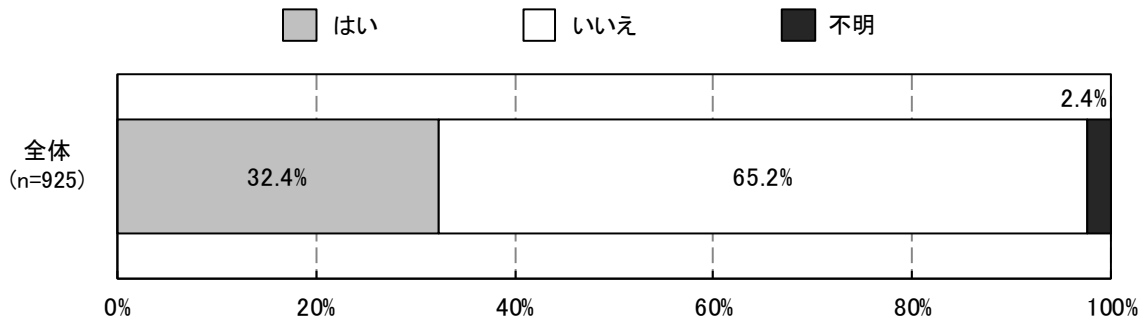
防災訓練の参加したことがあるかについて、「はい」と回答された方の割合は32.4%、「いいえ」が65.2%となった。

男女別では、大きな差異は見られなかった。

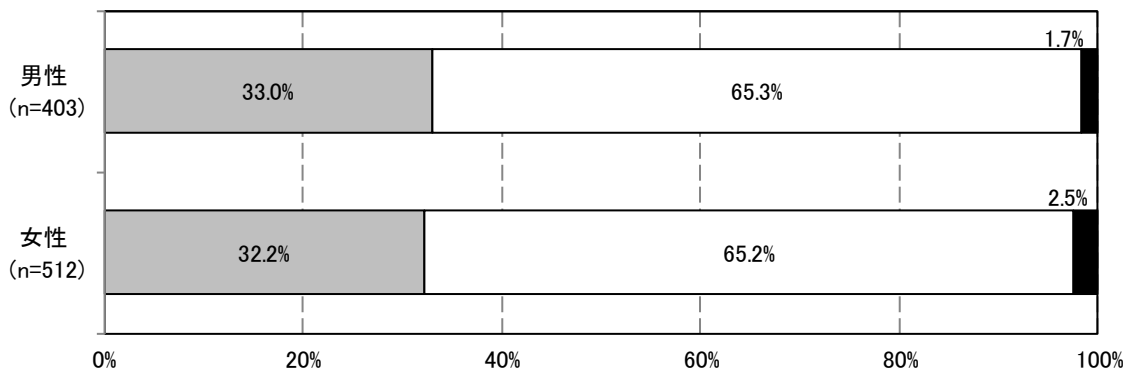
年代別では、「はい」と回答された方の割合が最も低かった年代は「20～29歳」(9.4%)であったが、そこから年代が上がるに従って割合が上がり、「70～79歳」では40.7%と最も高い割合を示した。

地域別では、「はい」と回答された方の割合が最も高かった地域は「河北部」(44.4%)となった。次いで、「河西部」(38.4%)、「南部」(32.7%)と続いた。

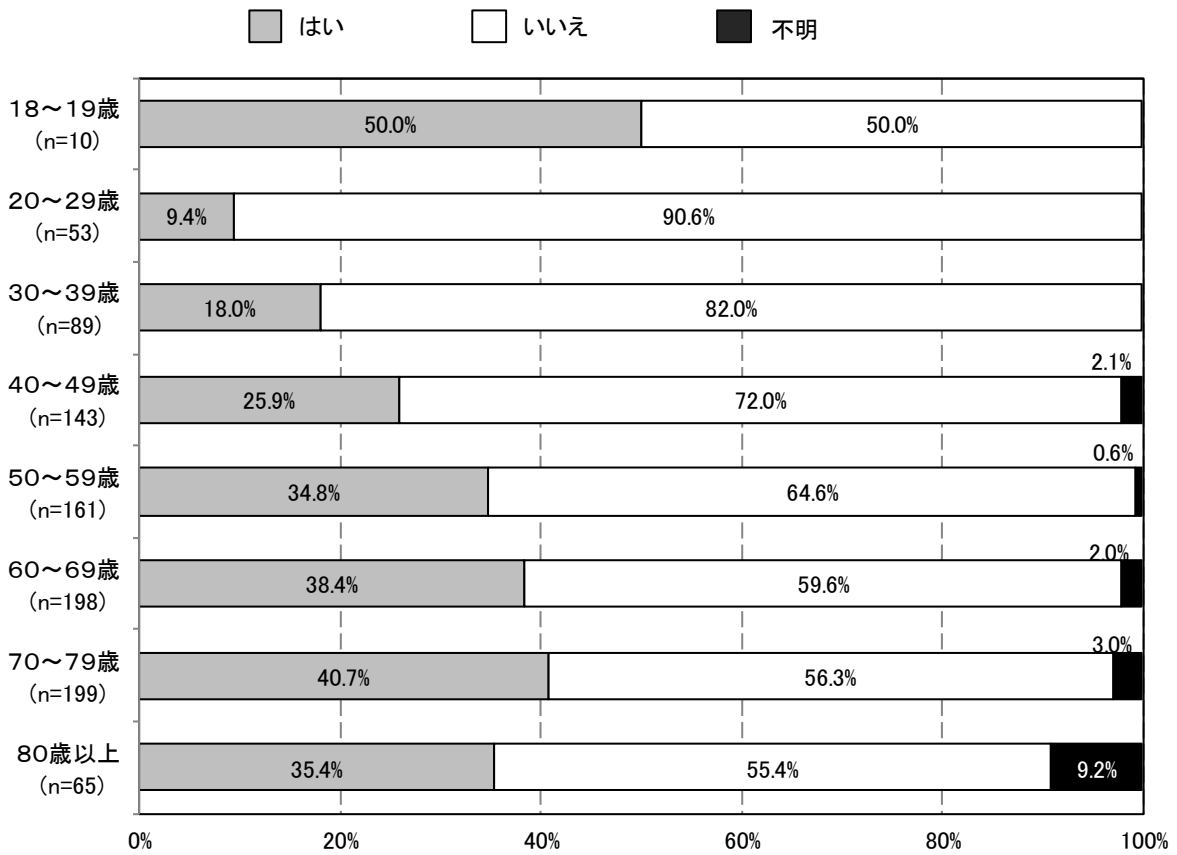
<全体>



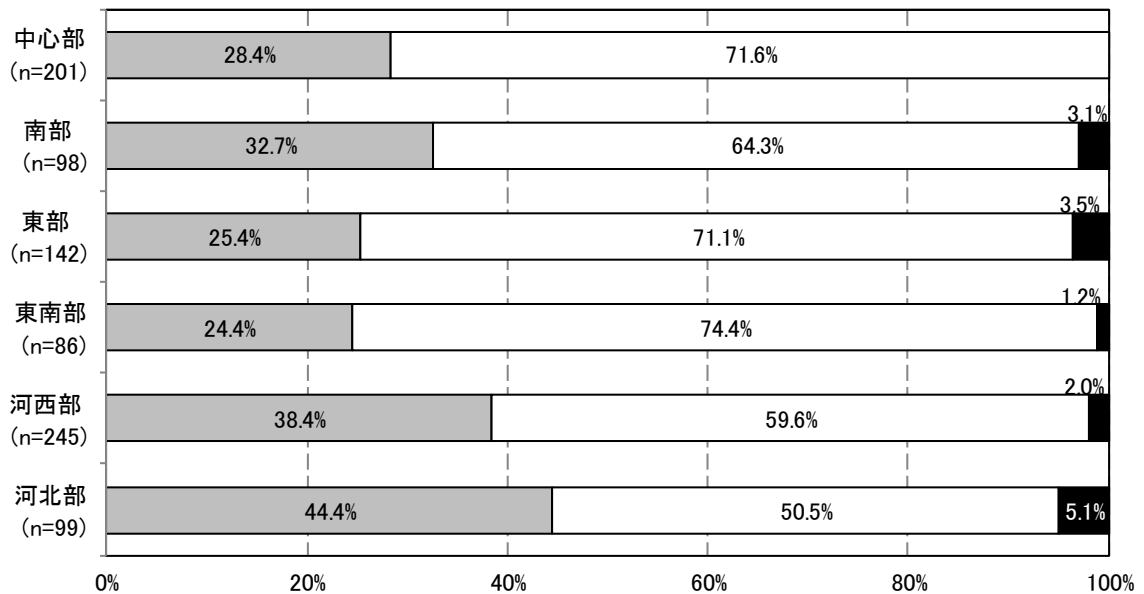
<男女別>



<年代別>



<地域別>



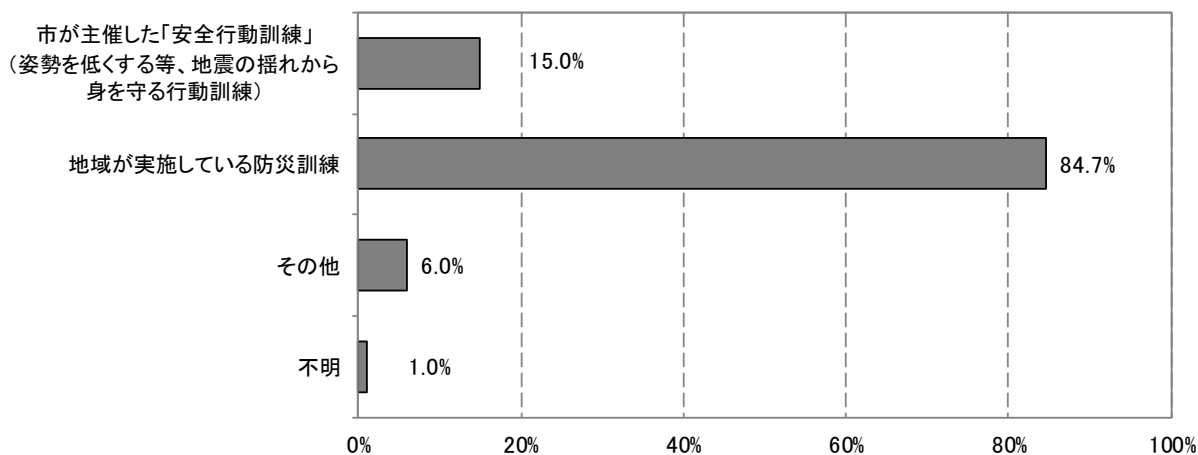
問34-1 防災訓練の内容

問34-1 問34で「1. はい」と回答された方のみお答えください。どのような訓練に参加されましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 市が主催した「安全行動訓練」（姿勢を低くする等、地震の揺れから身を守る行動訓練）
2. 地域が実施している防災訓練
3. その他

どのような訓練に参加されたかについて、最も多かった回答は「地域が実施している防災訓練」（84.7%）となった。次いで、「市が主催した「安全行動訓練」（姿勢を低くする等、地震の揺れから身を守る行動訓練）」（15.0%）と続いた。

n=300



その他：「会社が主催したもの」、「学校の避難訓練」など

問34-2 防災訓練に参加しなかった理由

問34-2 問34で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。防災訓練に参加されなかった理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 仕事や用事があったから
2. 以前に参加したことがあり内容が分かっているから
3. 防災訓練があったことを知らなかったから
4. その他

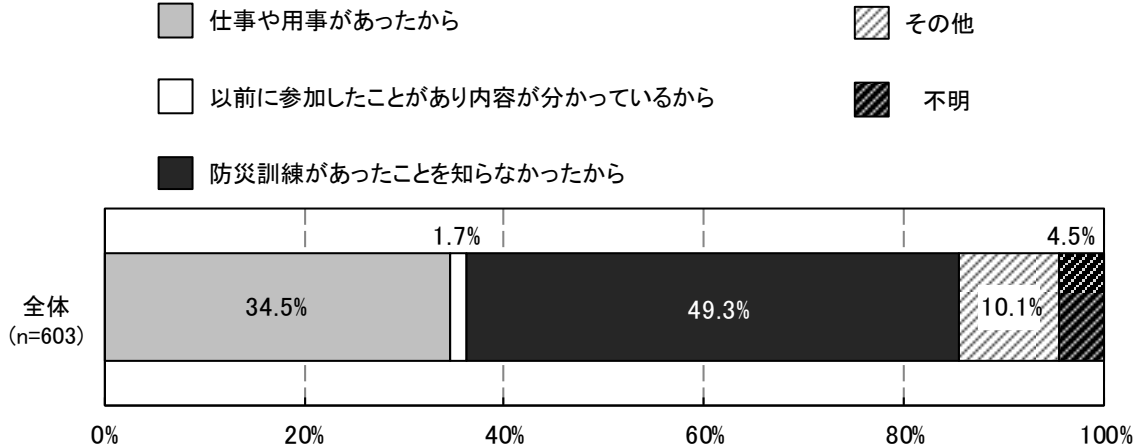
防災訓練に参加しなかった理由として、最も多かった回答は「防災訓練があったことを知らなかったから」(49.3%)となった。次いで、「仕事や用事があったから」(34.5%)、「以前に参加したことがあり内容が分かっているから」(1.7%)と続いた。

男女別では、「防災訓練があったことを知らなかったから」を回答された男性の割合は47.5%、女性は50.9%となり、女性のほうがやや高い割合を示した。

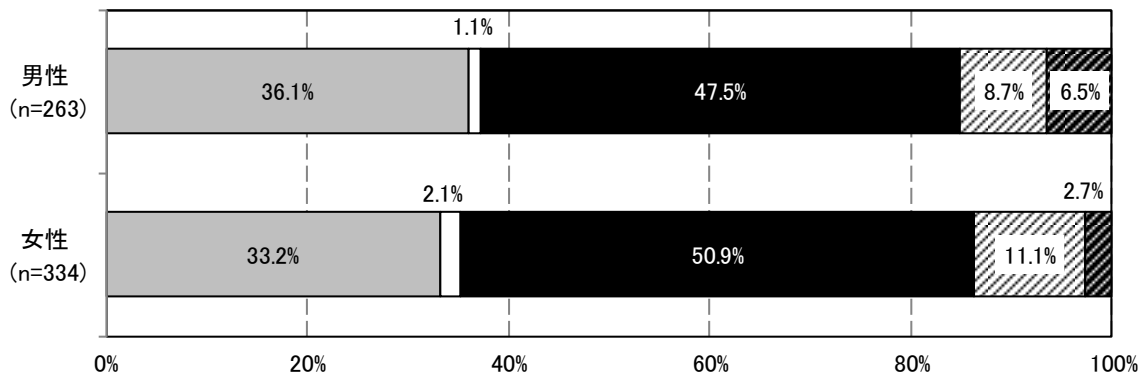
年代別では、「防災訓練があったことを知らなかったから」を回答された方の割合が最も高かった年代は「18～19歳」(80.0%)であったが、そこから年代が上がるに従って割合が低くなり、「60～69歳」で最も低く40.7%となった。

地域別では、「防災訓練があったことを知らなかったから」を回答された方の割合が最も高かった地域は「中心部」(55.6%)、「仕事や用事があったから」を回答された方の割合が最も高かった地域は「南部」(42.9%)となった。

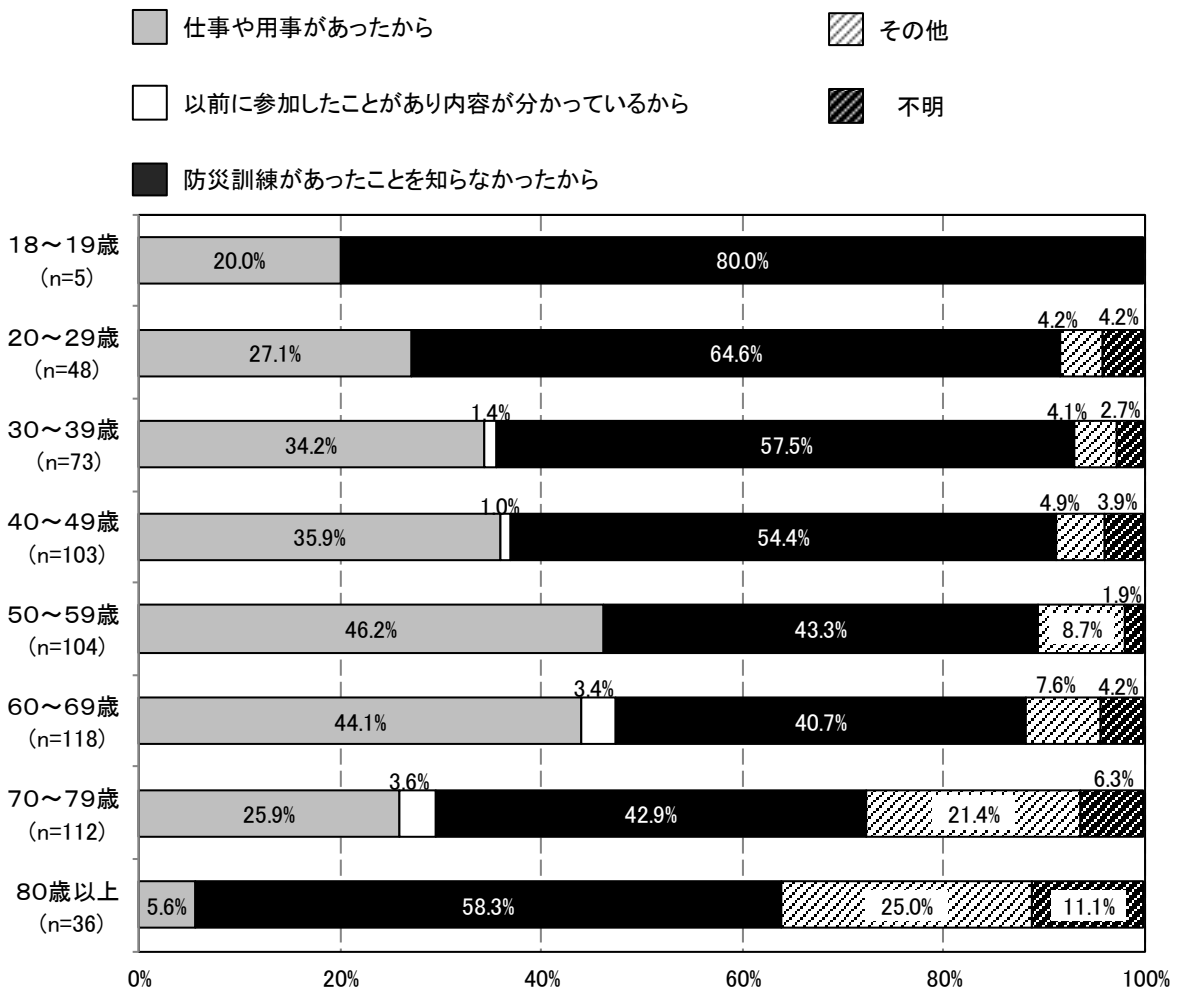
<全体>



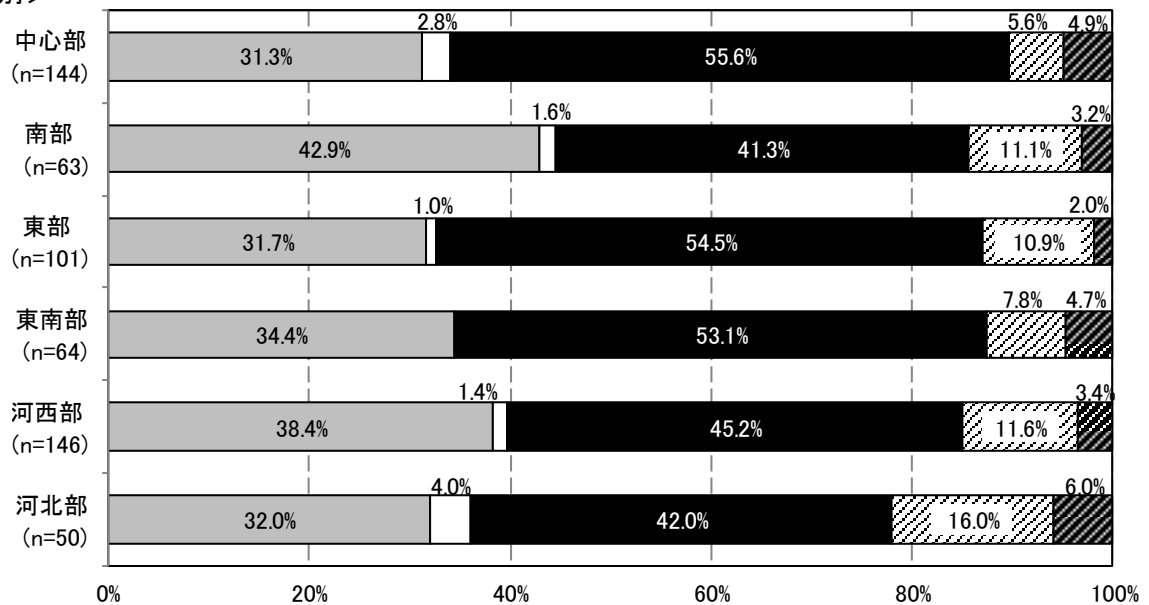
<男女別>



<年代別>



<地域別>



その他：「健康、体力的に困難」、「身近に訓練が行われていない」、「高齢のため」、「興味ない、必要性を感じない」など

問35 防災訓練参加への意向

問35 あなたは、市や地域が実施する防災訓練があれば参加しますか？

1. はい

2. いいえ

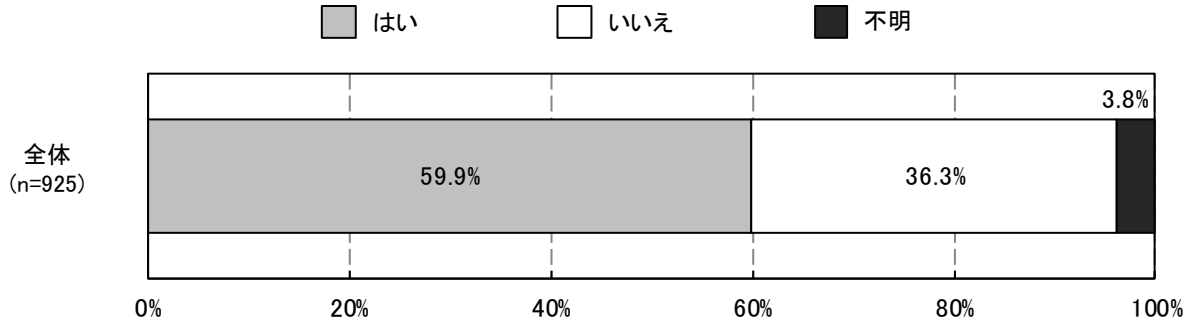
防災訓練へ参加するかについて、「はい」と回答された方の割合は59.9%、「いいえ」が36.3%となった。

男女別では大きな差異は見られなかった。

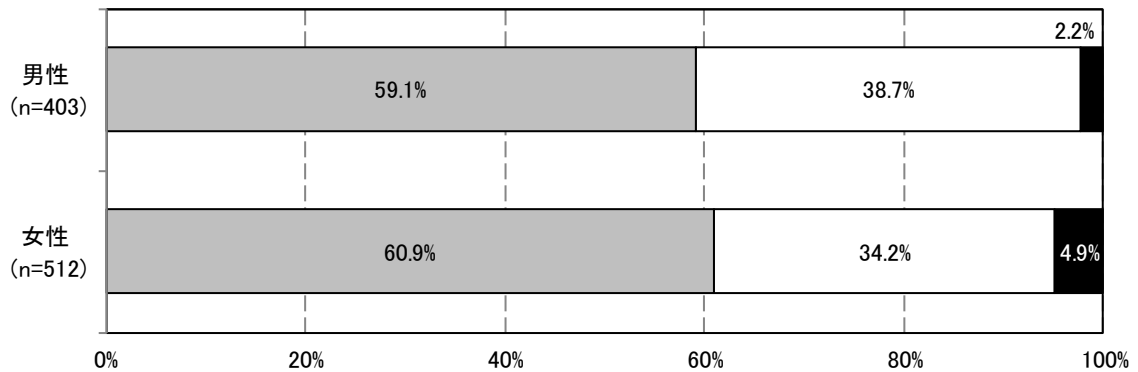
年代別では、「はい」と回答された方の割合が最も低かった年代は「20～29歳」（41.5%）であったが、50～70歳代の各年代で60%を超える結果となった。

地域別では、「はい」と回答された方の割合が最も高かった地域は「河北部」（67.7%）、次いで「南部」（64.3%）、「中心部」（61.7%）と続いた。

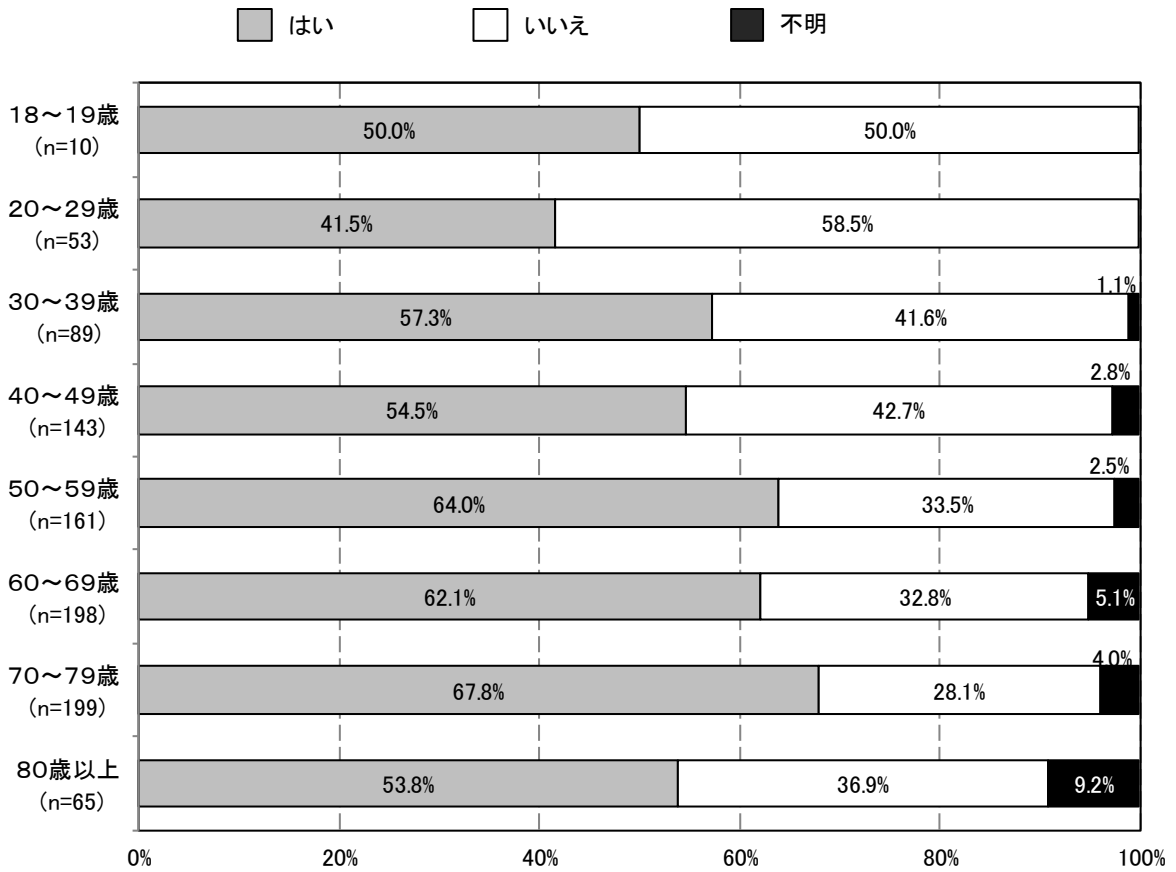
<全体>



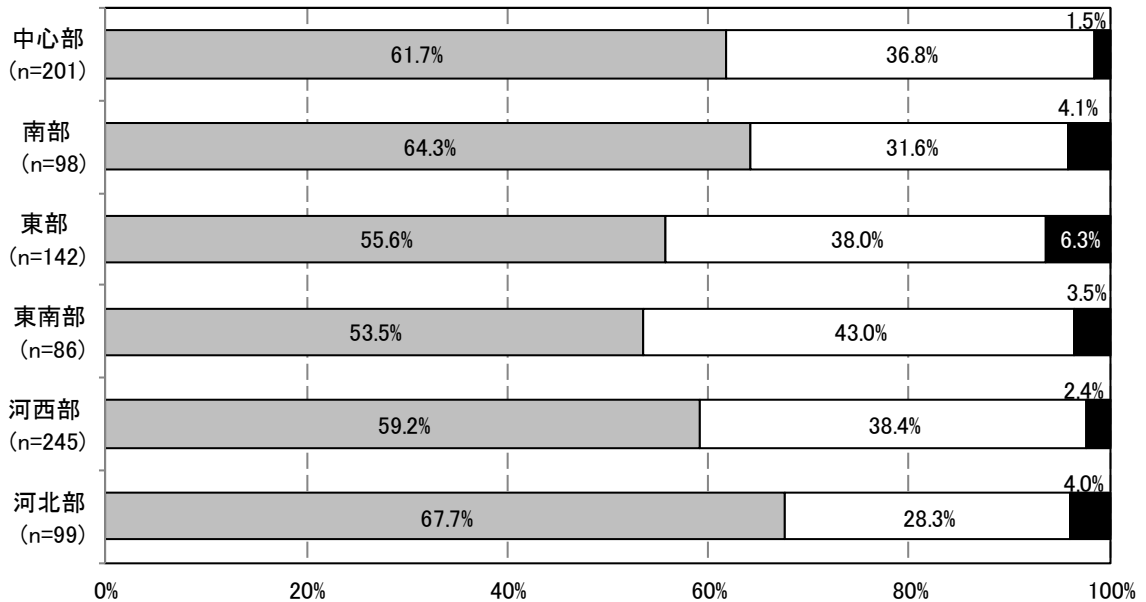
<男女別>



<年代別>



<地域別>



問35-1 防災訓練に参加しない理由

問35-1 問35で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。参加されない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 仕事や用事があり忙しいから
2. 参加しなくても、いざとなれば対応できると思うから
3. 災害時に役に立つと思わないから
4. 参加したいが、体調が悪く参加できないから
5. その他

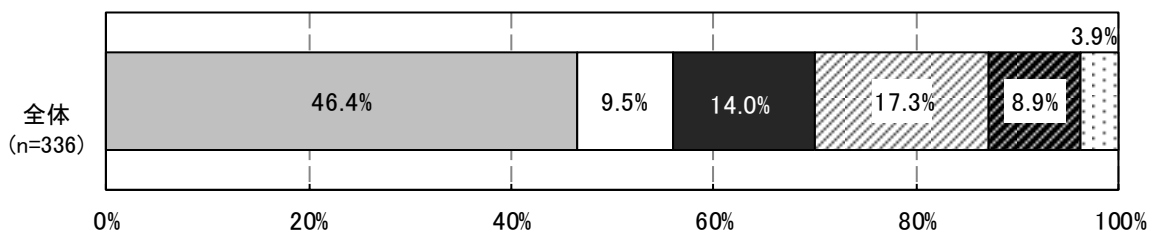
防災訓練に参加しない理由として最も多かった回答は、「仕事や用事があり忙しいから」(46.4%)であった。次いで、「参加したいが、体調が悪く参加できないから」(17.3%)、「災害時に役に立つと思わないから」(14.0%)と続いた。

男女別では、「参加したいが、体調が悪く参加できないから」と回答された方の割合は、男性が14.1%、女性は19.4%となり女性のほうがやや高い結果となった。

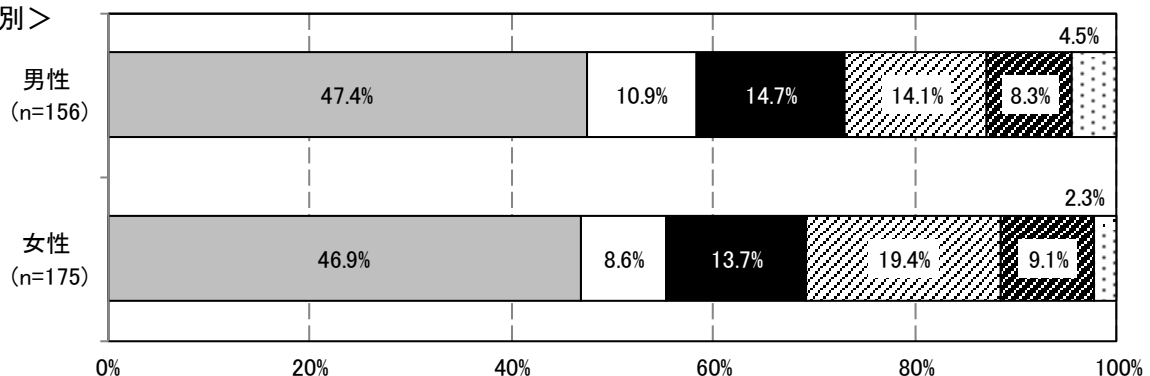
年代別では、「仕事や用事があり忙しいから」と回答された40歳代以下の各年代では割合が60%を超えたが、年代が上がるに従って、低くなる傾向が見られた。また、「参加したいが、体調が悪く参加できないから」と回答された方は70歳代以上の各年代で高くなり、「70～79歳」で39.3%、「80歳以上」で58.3%となった。

地域別では、「仕事や用事があり忙しいから」を回答された方の割合が最も高かった地域は「東部」(55.6%)となった。

<全体>

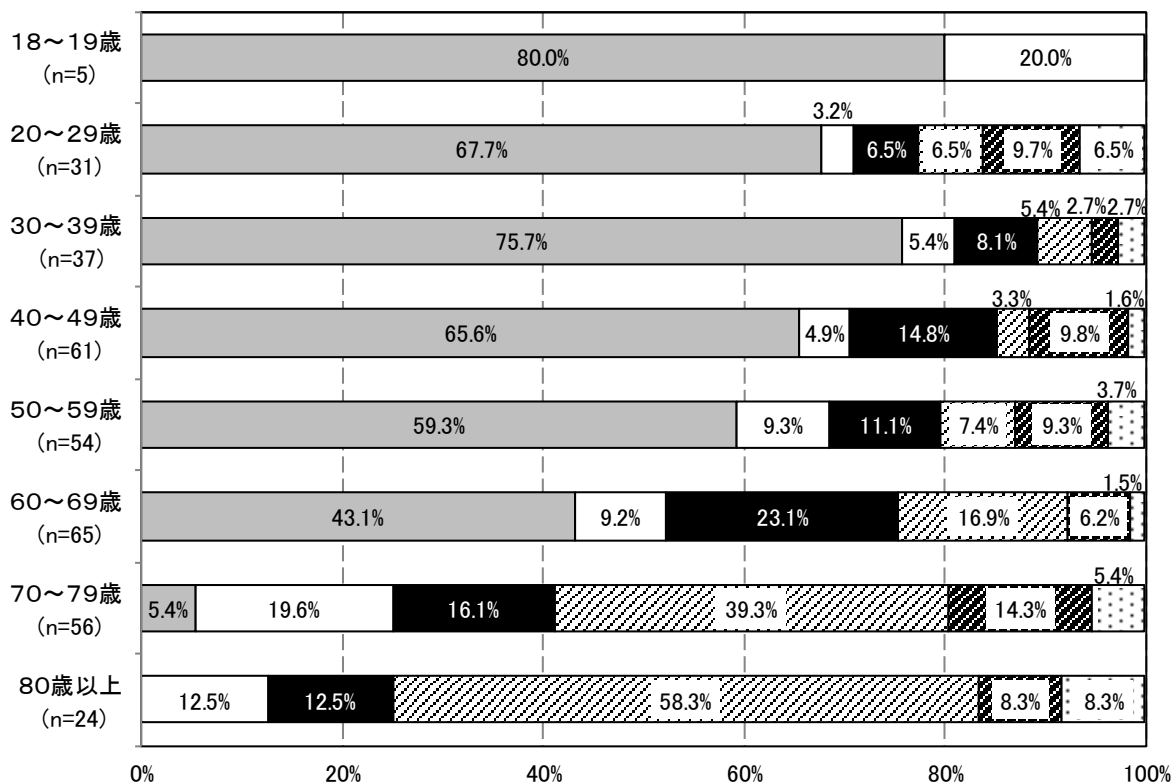


<男女別>

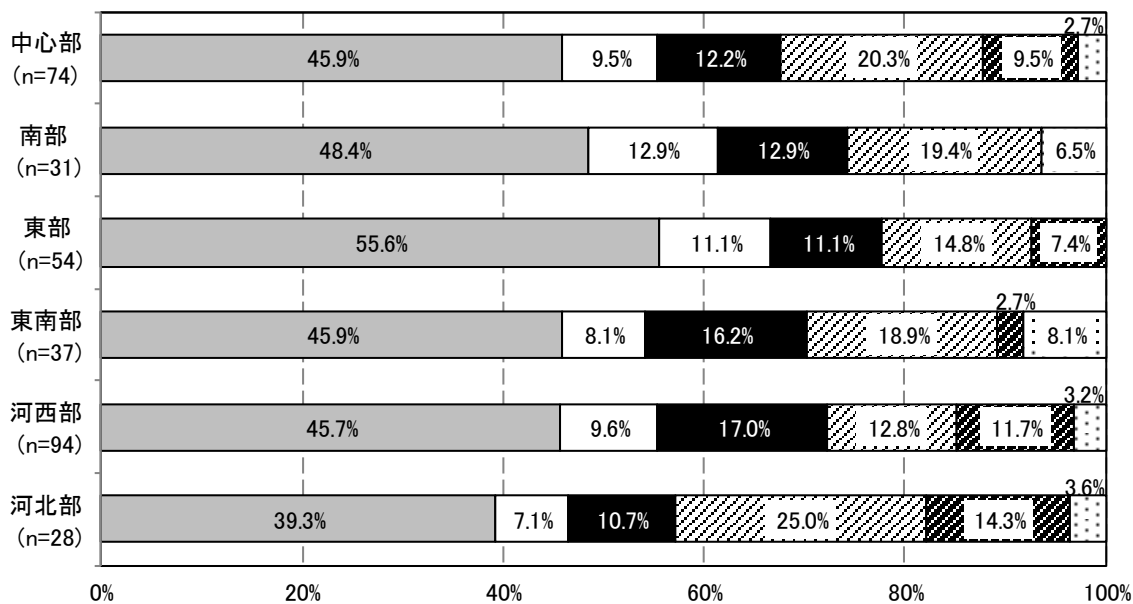


<年代別>

- 仕事や用事があり忙しいから
- 参加しなくても、いざとなれば対応できると思うから
- 災害時に役に立つと思わないから
- 参加したいが、体調が悪く参加できないから
- その他
- 不明



<地域別>



その他：「行きたくない、面倒くさい」、「家族の介護、子育てがある」、「高齢のため」など

問36 避難場所の認知状況

問36 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

1. 知っている

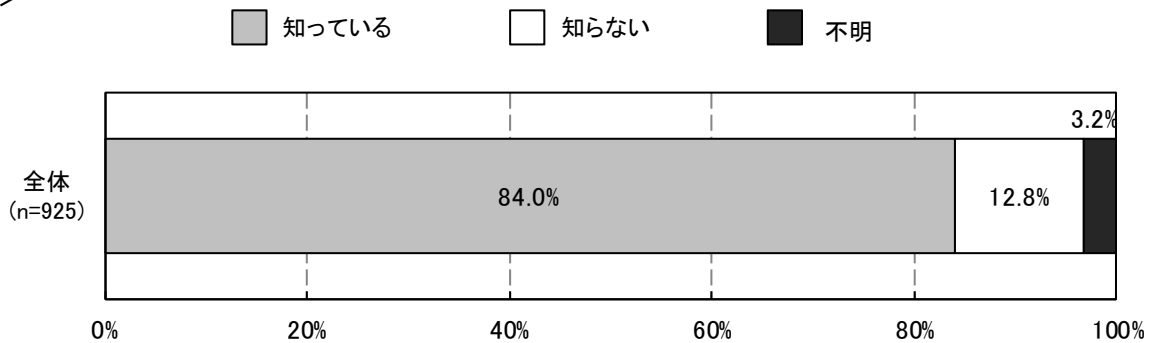
2. 知らない

避難場所を知っているかについて、全体では「知っている」と回答された方の割合は84.0%、「知らない」は12.8%となった。

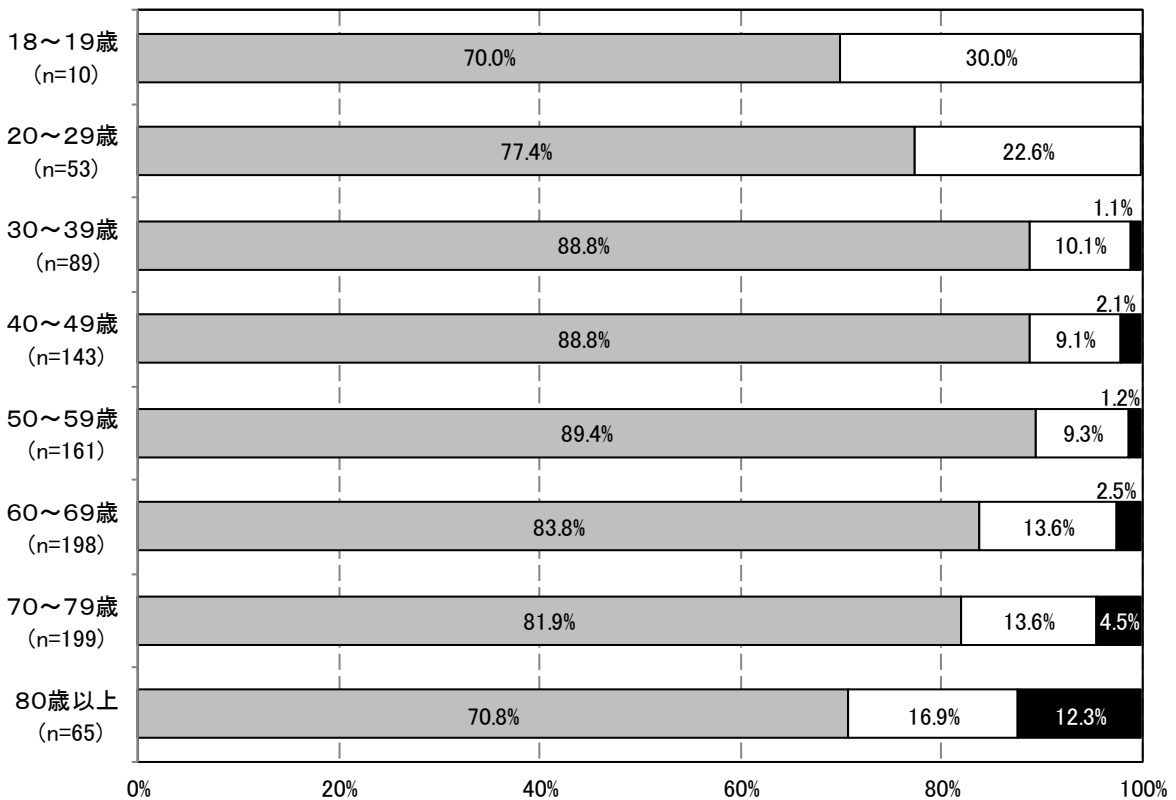
年代別では、「知っている」と回答された方の割合が最も低かったのは「18～19歳」（70.0%）であったが、30歳代から70歳代の各年代では80%を超える結果となった。

地域別では、「知っている」と回答された方の割合は「東部」（79.6%）で最も低かったが、他のいずれの地域でも80%を超える結果となった。

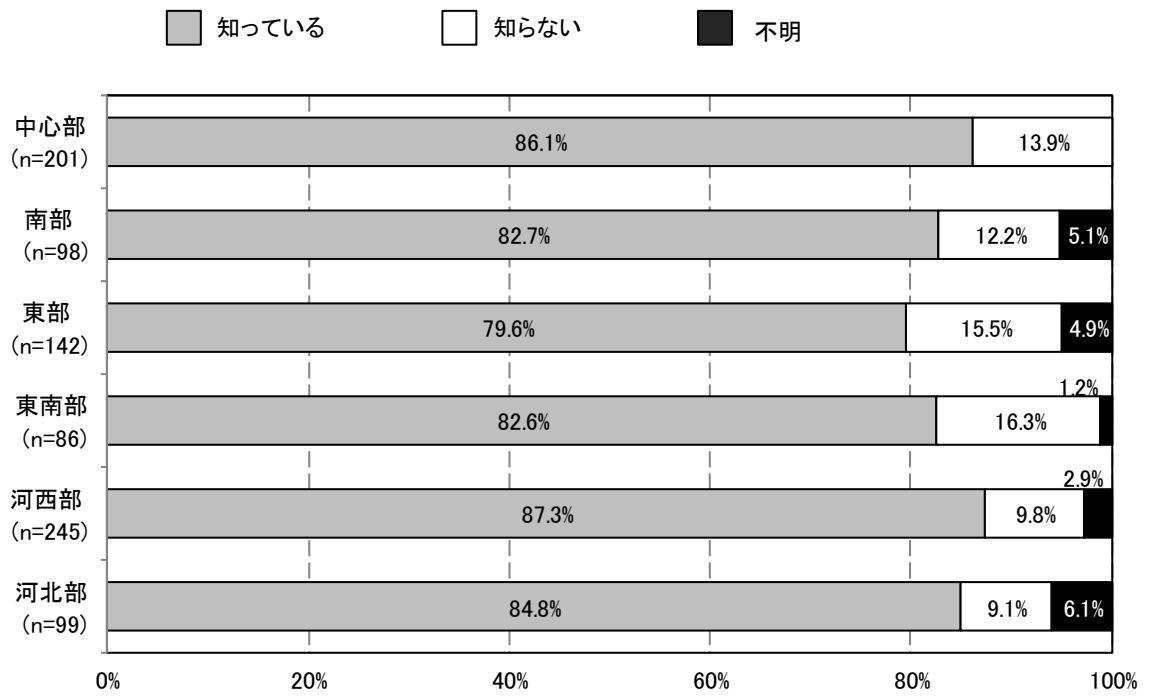
<全体>



<年代別>



<地域別>



問37 災害時の避難場所や避難経路の話し合い等について

問37 あなたは、災害から身を守るために、どの避難場所に逃げるか、どんな経路を通して逃げるか、日頃から調べたり、話し合ったりしていますか？

1. している

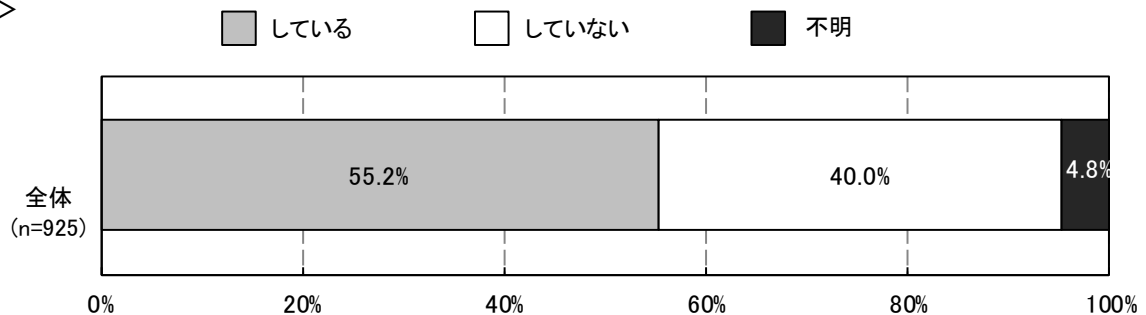
2. していない

災害時の避難場所や避難経路の話し合い等について、全体では「している」と回答された方の割合は55.2%、「していない」は40.0%となった。

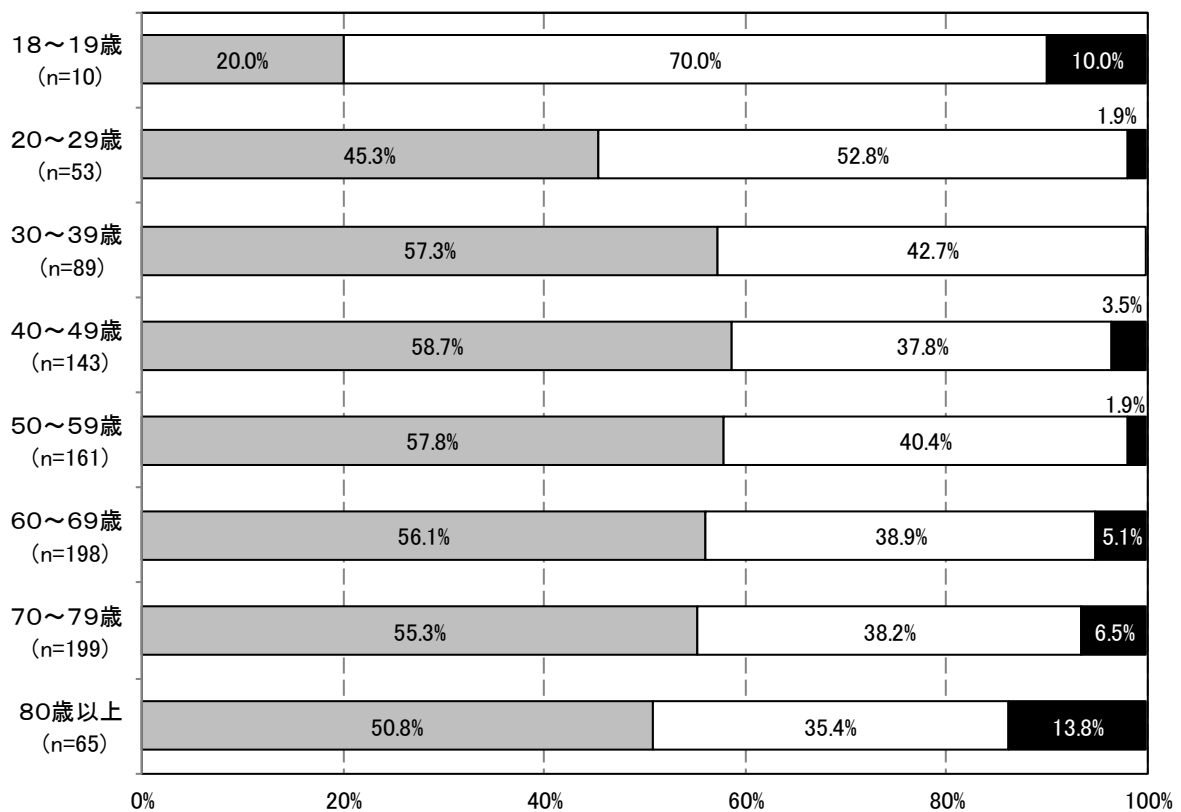
年代別では、「している」と回答された方の割合が最も高かった年代は「40～49歳」（58.7%）であった。そこから年代が上がるに従って割合が低くなり、「80歳以上」にて50.8%となった。

地域別では、「している」と回答された方の割合が高かった地域は「中心部」（64.2%）となった。次いで、「河西部」（59.6%）、「南部」（54.1%）と続いた。

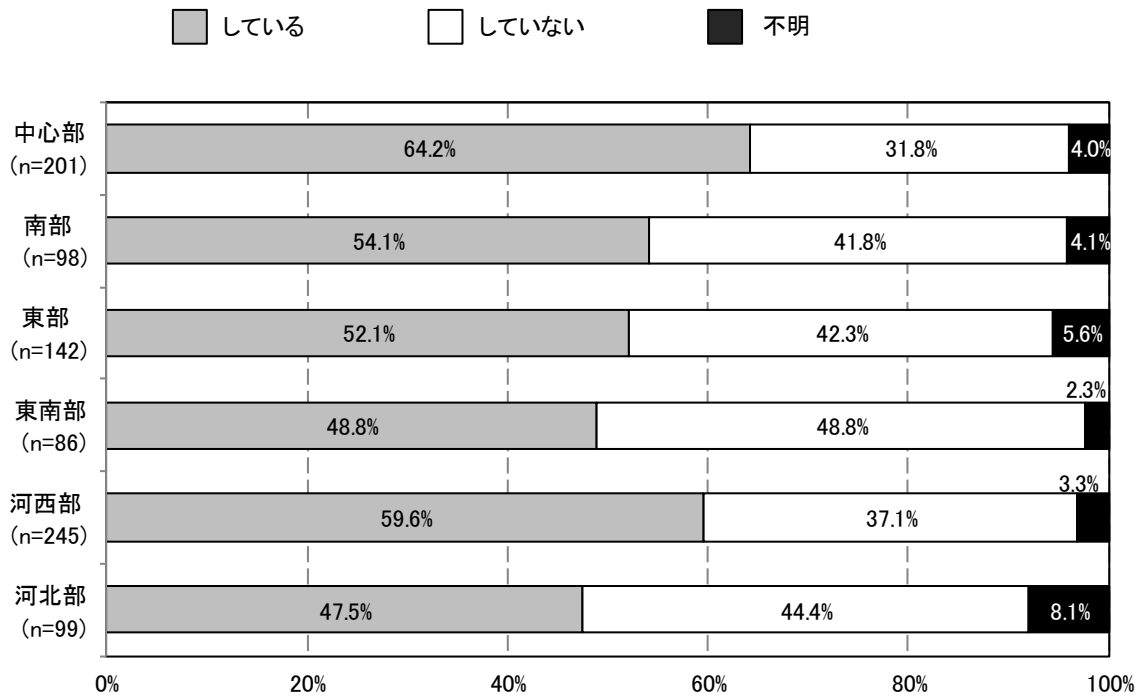
<全体>



<年代別>



<地域別>

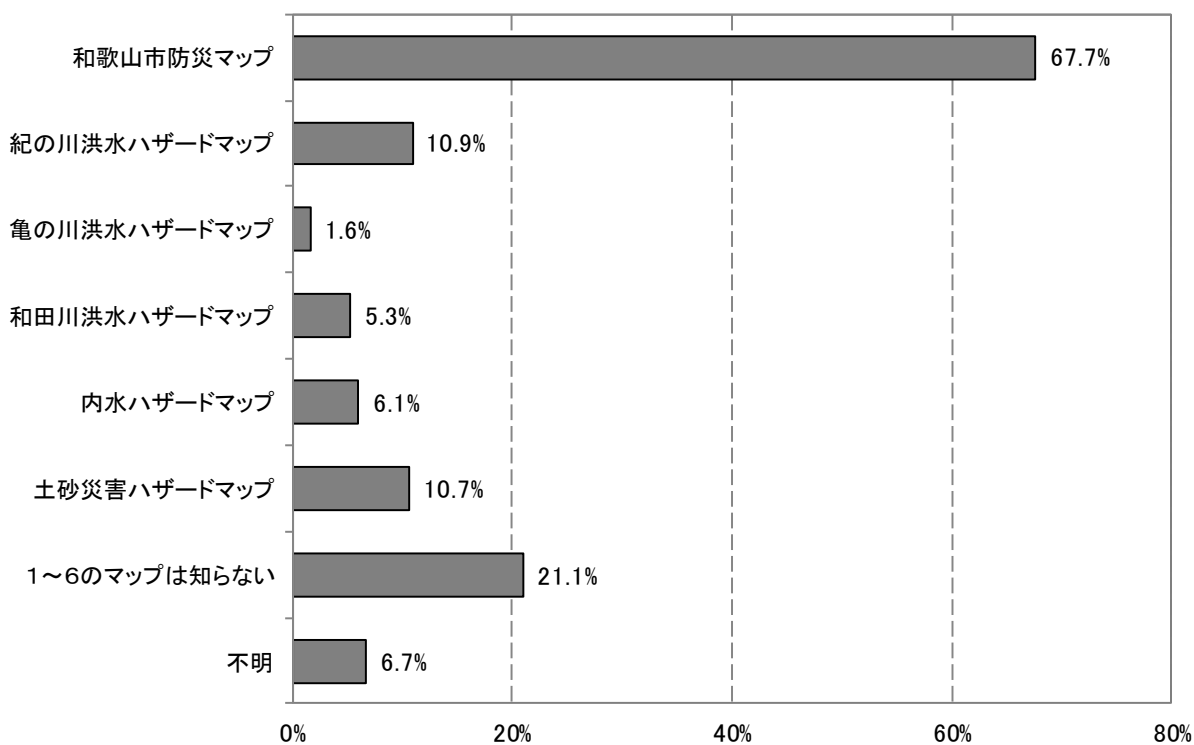


問38 ハザードマップの認知状況

問38 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 和歌山市防災マップ | 5. 内水ハザードマップ |
| 2. 紀の川洪水ハザードマップ | 6. 土砂災害ハザードマップ |
| 3. 亀の川洪水ハザードマップ | 7. 1～6のマップは知らない |
| 4. 和田川洪水ハザードマップ | |

知っているハザードマップで最も多かったものが「和歌山市防災マップ」(67.7%)であった。次いで、「紀の川洪水ハザードマップ」(10.9%)、「土砂災害ハザードマップ」(10.7%)となった。また、「1～6のマップは知らない」と回答された方の割合も21.1%となった。

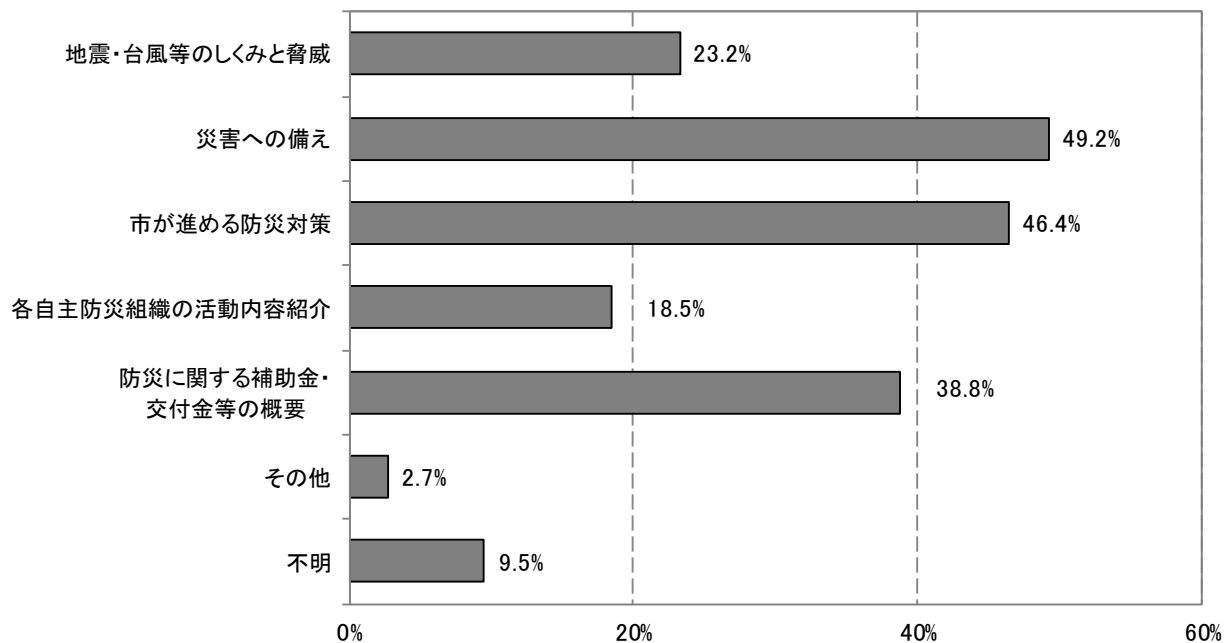


問39 市報わかやま等に掲載してほしい防災情報

問39 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 地震・台風等のしくみと脅威
2. 災害への備え
3. 市が進める防災対策
4. 各自主防災組織の活動内容紹介
5. 防災に関する補助金・交付金等の概要
6. その他

市報わかやまや防災ホームページ等に掲載してほしい防災情報として、最も多かった回答は「災害への備え」(49.2%)であった。次いで、「市が進める防災対策」(46.4%)、「防災に関する補助金・交付金等の概要」(38.8%)と続いた。



その他：「避難情報」、「わからない・見ない」など

問40 防災行政無線等による伝達状況

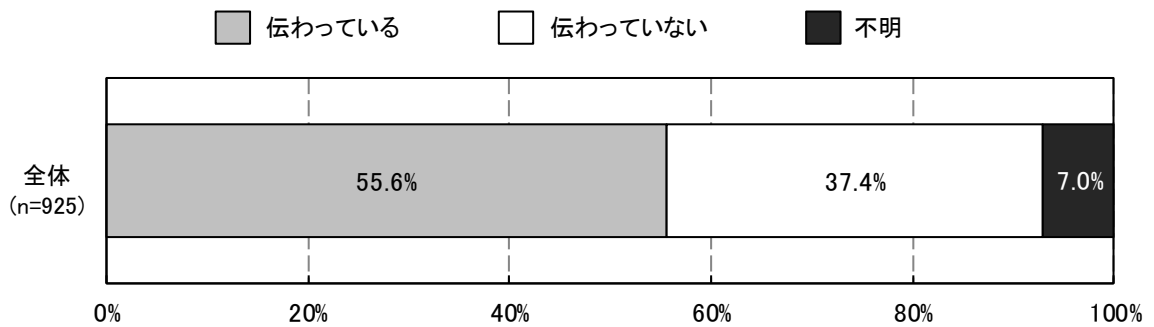
問40 防災行政無線等による市からの情報はあなたに伝わっていますか？

1. 伝わっている
2. 伝わっていない（理由： ）

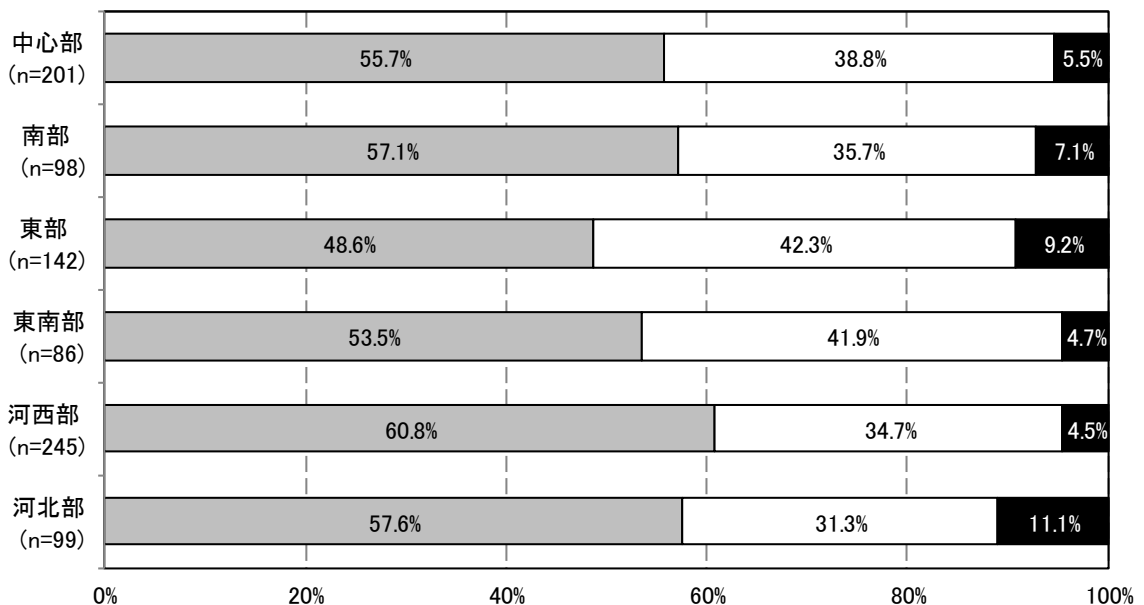
防災行政無線等による伝達状況について、全体では、「伝わっている」は55.6%、「伝わっていない」は37.4%となった。

地域別では、「伝わっている」と回答された方の割合が最も高かったのが「河西部」（60.8%）であった。また、最も低かったのが「東部」の48.6%であったが、「東部」以外の地域では半数を超える方が「伝わっている」と回答されている。

<全体>



<地域別>



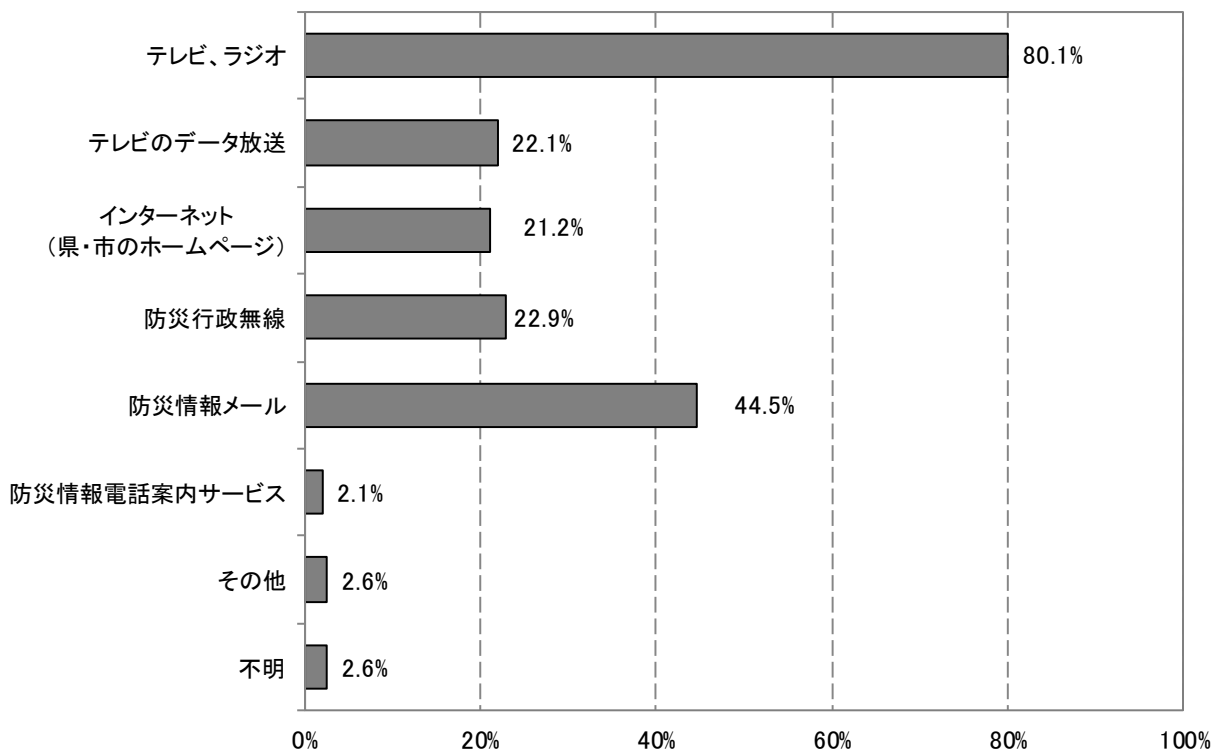
理由：「聞こえない・聞こえにくい」、「スピーカーの位置や向きが不適切」、「音が反響・割れる」など

問4 1 災害に関する情報を得る手段

問4 1 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビ、ラジオ
2. テレビのデータ放送
3. インターネット（県・市のホームページ）
4. 防災行政無線
5. 防災情報メール
6. 防災情報電話案内サービス
7. その他

災害に関する情報を得る手段として最も多かったのが「テレビ、ラジオ」で80.1%となった。次いで、「防災情報メール」（44.5%）となり、この2つが他の手段に比べ大きな割合を示した。



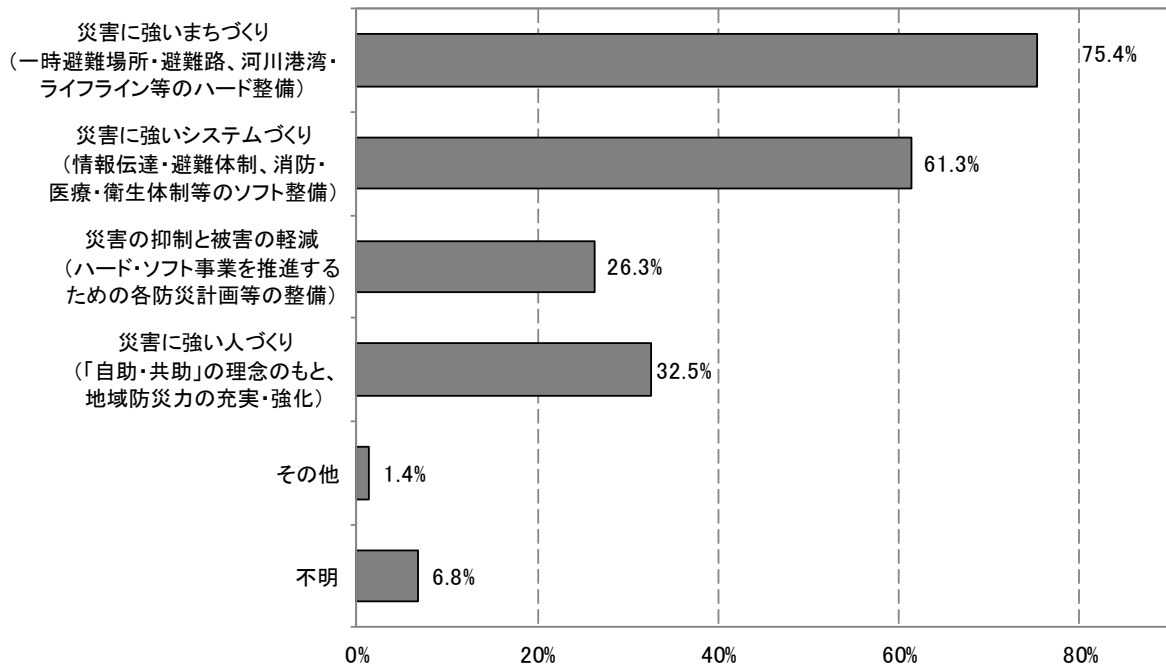
その他：「スマホ、携帯電話」、「アプリ」、「SNS」など

問4 2 災害に対する安全性向上に向け必要な取組

問4 2 災害に対する安全性向上に向けてどのような取組が必要だと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 災害に強いまちづくり（一時避難場所・避難路、河川港湾・ライフライン等のハード整備）
2. 災害に強いシステムづくり（情報伝達・避難体制、消防・医療・衛生体制等のソフト整備）
3. 災害の抑制と被害の軽減（ハード・ソフト事業を推進するための各防災計画等の整備）
4. 災害に強い人づくり（「自助・共助」の理念のもと、地域防災力の充実・強化）
5. その他

災害に対する安全性向上に向け必要な取組として、最も多かった回答は「災害に強いまちづくり（一時避難場所・避難路、河川港湾・ライフライン等のハード整備）」（75.4%）であった。次いで、「災害に強いシステムづくり（情報伝達・避難体制、消防・医療・衛生体制等のソフト整備）」（61.3%）と続き、この2つが他の取組に比べ大きな割合を示した。



その他：「下水道、用水路の改善」、「行政の意識改善」など